光市政策工程表

(平成24年度~平成28年度)

平成28年3月 光 市

目 次

1	政策工程表の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・1
2	政策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
3	政策工程表(個票)・・・・・・・・・・・・・5
	★「ふれあい」と「絆」・・・・・・・・・・・・・・・・・6 ~ふれあいと絆で創ります「やさしく安心な市民生活」~
	★「地域の宝」と「知恵」・・・・・・・・・・・・・・・32 〜地域の宝と知恵で創ります「豊かで輝く未来のまち」〜
	★「改革」と「開示」・・・・・・・・・・・・・・・52 ~改革と開示で創ります「開かれた市民主体の行政」~

1 政策工程表の概要

(1) 趣旨

政策工程表は、「市長公約」及び、総合計画後期基本計画の中で特に優先して取り組む政策として掲げた「7つの未来創造プロジェクト」の具現化に向けた方向性や進捗状況等を明らかにするとともに、評価・検証につなげるために策定するものです。

(2) 役割

ア 市民と協働で目指すまちの姿である「やさしさあふれる 『わ』のまち ひかり」の創造のための指針とします。

イ 「市長公約」及び「7つの未来創造プロジェクト」を具現化するために必要な施策や事業について、年次的な実施 工程、実施状況や実績等を明らかにするとともに、最終的な成果目標を明らかにします。

(3) 主な掲載事項

- ア 「市長公約」及び「7つの未来創造プロジェクト」の具現化に必要な施策や事業と概要及び担当部局
- イ 施策や事業の実施スケジュール、進捗状況及び達成状況、市民との協働の実践状況
- ウ 施策や事業の実施に必要な経費

(4)期間

平成24年度~平成28年度 5年間

(5) 工程表の見直し

社会情勢の変化や財政状況等により、具現化するための施策や事業、実施スケジュールを見直すなど、柔軟な対応を するとともに、さらに深化したものとするため、毎年度見直しを行います。

(6)総合計画行動計画との関係

政策工程表では、「7つの未来創造プロジェクト」に的を絞ることとし、その他の施策や事業の工程等については、 行動計画において示すこととします。

2 政策の体系

★「ふれあい」と「絆」 ~ふれあいと絆で創ります 「やさしく安心な市民生活」~

I 地域コミュニティの創造		
1 世場コミューティの制造 1 ●コミュニティ活動への支援	市民部	6
1 ●コミューディ活動への支援 2 ●地域コミュニティ活動の拠点機能の充実	市民部	7
3 ●(仮称)室積コミュニティセンターの建設	市民部	7
4 ●主体的な市民活動への支援	市民部	8
5 ■地域づくりの中核を担う、新たな地域コミュニティ組織づくりの推進	市民部	9
6 ■市民と行政が対等な立場で取り組む、協働事業の充実	市民部	9
I 地域包括ケアシステムの創造		
1 ●包括的・総合的な地域包括ケア体制の構築	福祉保健部	10
2 ◆大和や牛島を含めた地域医療の確保	福祉保健部、病院局	11
3 ●2つの市立病院の機能分化と機能強化	病院局	12
4 ●高齢者や障害者を支える地域福祉ネットワークの構築	福祉保健部	13
5 ■高齢者の権利擁護と認知症支援策の充実	福祉保健部	14
6 ■地域包括支援センターの機能強化	福祉保健部	15
7 ■地域包括ケアシステムを支えるサービス体制の充実	福祉保健部	16
II 家庭の子育て応援体制の創造		
1 ●子ども医療費の無料化継続と母子保健の推進	福祉保健部	17
2 ●子育てと仕事の両立の支援	福祉保健部	18
3 ●留守家庭児童教室(サンホーム)の充実	教育委員会	19
4 ●保育園・幼稚園を核とする地域交流活動の促進	福祉保健部	20
5 ◆家庭の養育力を高める相談・支援体制の構築	福祉保健部	21
6 ■家族の団らんの輪を広げ、ふれあい促進や子育てに関わる負担軽減、様々な知恵や知識の伝承など、多くの利点が考えられる多世代同居、近居の促進	政策企画部	22
7 ■コミュニティスクール指定校の拡大	教育委員会	22
8 ■子どもたちの校外活動や地域活動、社会参加機会の充実	教育委員会	23
・ ソ 安全で安心できるまちの創造		
1 ●自主防災の育成・支援と消防団の充実	総務部、消防組合消防本部	23
2 ●災害時要援護者の避難支援体制の構築	総務部、福祉保健部	24
3 ●防災行政無線の整備等による情報の伝達体制の構築	総務部	25
4 ●学校施設・保育園等の耐震化の早急な実施	教育委員会、福祉保健部	26
5 ■防災研修、防災訓練の実施	総務部	27
6 ■「地域防災計画」の見直しや、各種防災マニュアルの充実	総務部	28
7 ■各種ハザードマップの活用と津波ハザードマップの作成の検討	総務部	29
8 ■災害危険個所の点検、整備	総務部	30
9 ■災害時の防災拠点となる市役所本庁舎の耐震診断の実施や、避難所の確保、整備の推進	総務部	31

★「地域の宝」と「知恵」 ~地域の宝と知恵で創ります 「豊かで輝く未来のまち」~

V 人と自然にやさしいエコ生活の創造		
1 ●太陽光発電や省エネ設備の設置補助	環境部	32
2 ●公共施設への太陽光発電システムや省エネ設備の導入促進	環境部	33
3 ●環境学習の展開とリサイクルの推進	環境部	34
4 ●エコショップ認定制度など事業所等のごみ減量化等の促進	環境部	35
5 ●リュースを支援する不用品交換システムの充実	環境部	35
6 ■未利用のエネルギー資源の活用検討	環境部	36
7 ■家庭ごみの約40%を占める生ごみのリサイクルの推進	環境部	36
8 ■物を大切にする、「もったいない文化」の普及啓発	環境部	37
W 里と海を活かした第六次産業の創造	, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	
1 ●地産地消の促進による里と海の恵の消費拡大(里の厨の活用促進)	経済部	37
2 ●食や農を楽しむツーリズムの推進	経済部	38
3 ●学校給食での地域農産物の利用促進	経済部、教育委員会	38
4 ●農産物と水産物のブランド化の推進	経済部	39
5 ●エコファーマーやニューフィッシャー等の推進による後継者の育成	経済部	40
6 ●つくり育てる漁業と資源管理型漁業の推進	経済部	41
7 ■全国のモデルとなる次世代型農業生産構造の確立	経済部	41
8 ■漁港施設の機能強化	経済部	42
9 ■付加価値の高い商品開発や新たな流通チャンネルの確立など、「里の厨」を中心とした新たな地域活力の創出	経済部	42
10 ■「里の厨」を活用した障害者の豊かな体験の場づくりや、キャリア形成の支援	経済部、福祉保健部	43
11 ■子どもたちが地域の食文化や農業の役割を学ぶ食農教育の推進	経済部、教育委員会	43
12 ■無(滅)農薬栽培や堆肥の活用など、環境保全型農業の推進	経済部	44
Ⅲ 輝くまちと元気な産業の創造		,
1 ◆瀬戸風線など幹線道路の整備促進	建設部	44
2 ◆生活道路の整備と下水道整備の充実	建設部、環境部	45
●岩田駅前のコンパクトシティ化の促進	•	
3 ■大和支所などの公共施設の整備や再配置のあり方等の検討	建設部	46
4 ■市営溝呂井住宅の非現地建替え	建設部	47
5 ■道路整備の段差や暗がりの解消など、安心できる居住環境の整備	建設部	47
6 ■空き店舗等を活用した、地域コミュニティ活動の場の創出	市民部、経済部	48
7 ■大和総合病院の一次医療の確保と、慢性期医療やリハビリを主体とした病院への整備	病院局	48
8 ■JR岩田駅周辺の土地区画整理事業など、良好な住環境のあり方の調査・研究	建設部	49
9 ◆地域経済の活性化と雇用の創出	経済部	49
10 ◆商店や地域の事業所の活性化への支援	経済部	51

★「改革」と「開示」 ~改革と開示で創ります 「開かれた市民主体の行政」~

1 ◆<ち利き防止の制度化	総務部	52
2 ◆市長給与·退職金の削減	総務部	52
3 ◆行財政改革の推進	政策企画部	53
	政策企画部	55
5 ◆ワンストップサービスの推進	総務部	55
6 ◆また来たくなる窓口サービスの向上	総務部	56
	総務部	57
8 ◆定期的な市政報告の実施	政策企画部	57
9 ◆情報の公開と達成率の開示	政策企画部	58
10 ●次期総合計画等の策定	政策企画部	59

【凡例】

★ 大項目

中項目 小項目 所管部局等 掲載 ●「公約」及び「7つの未来創造プロジェクト」に掲げられている施策 ページ ■「7つの未来創造プロジェクト」のみに掲げられている施策 「公約」のみに掲げられている施策

3 政策工程表(個票)

【個票の見方】



- 進捗度を25%刻みで示しています。
- ※「27年度末達成状況」及び「市民との協働の実践状況」については、評価・検証の際に記載します。
- ◎ 工程表内の矢印については、施策や事業の実施状況によって切り替えています。 実線:施策や事業を実施中 点線:施策や事業の実施について協議・検討中
- ◎ 工程表には、施策や事業の実施に必要な経費を示していますが、予算については、予算編成後に確定したものを、決算については、実際にかかった額を示していきます。

各年度における進捗及び

★「ふれあい」と「絆」 ~ふれあいと絆で創ります 「やさしく安心な市民生活」~ 地域コミュニティの創造 コミュニティ活動への支援 主要施策 27年度末達成状況 日標 「コミュニティ推進基本方針」に基づき、市民との協働による地域自治推進のための対話・取組みを強化する 「コミュニティ推進基本方針」の策 年度 H24 H25 H26 H27 H28 定及び推進 I 施策の概要 •「コミュニティ推進基本方針」の ・「コミュニティ推進基本方針」 「コミュニティ推進基本方針」 地域コミュニティの組織や拠点づくりを •「コミュニティ推進基本方針」策 ・「コミュニティ推進基本方針」の 策定 に基づく施策の推進 に基づく施策の推進 推進するための基本方向や目標を示し 定のための市民懇話会を開催 策定 地域との対話スタート事業の ・地域づくり「対話」「つながり」 ・地域づくり「対話」「つながり」 た「コミュニティ推進基本方針」を策定 実施 事業 事業 し、市民との協働による地域自治を推 進する。 予算 9 千円 502 千円 511 千円 961 千円 338 千円 市民との協働の実践状況 実施中 実施中 実施中 ○コミュニティ推進基本方針策定 ○コミュニティ推進基本方針策定 ○コミュニティ推進基本方針策定 実 懇話会の開催 懇話会の開催 懇話会の開催 ・開催回数:1回 ・開催回数:5回 •開催冋数:2回 市民懇話会の役割確認及び 市民懇話会の役割確認及び ・12月に方針を策定 成 策定に関する情報の共有を 策定に関する情報の共有を 果 図った 図った 担当部局 進捗 計画より遅れている 25 % 計画より遅れている 50 % 計画どおり実施 100 % % 市民部 決算 3 千円 500 千円 524 千円 千円 千円 27年度末達成状況 主要施策 目標 地域の特性や創意工夫を活かしたコミュニティ活動の活性化及び地域づくりを推進する 年度 H24 H25 H26 H27 H28 地域づくり推進事業の推進 I 施策の概要 ・地域づくり推進事業交付金 地域づくり推進事業交付金 ・地域づくり推進事業交付金 「コミュニティ推進基本方針」 「コミュニティ推進基本方針」 地域の特性や創意工夫を活かした の交付 の交付 の交付 に基づく施策の推進 に基づく施策の推進 コミュニティ活動の活性化や地域づ 画 くり推進を図るため「地域づくり推進 事業交付金」を各地域へ交付する。 予算 4.940 千円 4.840 千円 4.840 千円 12.184 千円 14.955 千円 実施中 実施中 実施中 市民との協働の実践状況 淮 〇地域づくり推進事業交付金の 〇地域づくり推進事業交付金の 〇地域づくり推進事業交付金の 交付:12地域 交付:12地域 交付:12地域 ・各種講座や公民館まつり、運 ・各種講座や公民館まつり、運 ・各種講座や公民館まつり、運 動会等イベントの開催等を支 動会等イベントの開催等を支 動会等イベントの開催等を支 成 援した 援した 援した 果 等 担当部局

100 %

4.840 千円

計画どおり実施

100 %

4.840 千円

%

千円

%

千円

計画どおり実施

100 %

4.940 千円

計画どおり実施

進捗

決算

市民部

2	地域コミュニティ活動の拠点機	と 能の ラ	充実				
	主要施策	目標	公民館の地域自主運営に対する	支援等を行い、円滑な運営を推進	する		27年度末達成状況
	公民館の地域自主運営への支援	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 地域コミュニティの拠点となっている公民館への運営支援等により、 市民との協働による地域自治を推 進する。	工程計画	・公民館自主運営への支援	・公民館自主運営への支援	・公民館自主運営への支援	・公民館自主運営への支援	・公民館自主運営への支援
	進りる。	予算	58,194 千円	56,224 千円	62,997 千円	51,904 千円	57,021 千円
	市民との協働の実践状況	進捗・実績・	実施中 ○地域コミュニティ活動の拠点 となる公民館の運営支援	実施中 〇地域コミュニティ活動の拠点 となる公民館の運営支援	実施中 〇地域コミュニティ活動の拠点 となる公民館の運営支援		
	担当部局	成果等	■地域の自治会や公民館活動 に参加している人の割合:61.1%	■地域の自治会や公民館活動 に参加している人の割合:65.9%	■地域の自治会や公民館活動 に参加している人の割合:60.8%		
	市民部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 53,414 千円	計画どおり実施 100 % 55,124 千円	計画どおり実施 100 % 58,573 千円	% 千円	% 千円
3	(仮称)室積コミュニティセンタ	一の建	設				
	主要施策	目標	(仮称)室積コミュニティセンターの	整備について、平成27年度中に	整備する		27年度末達成状況
	(仮称)室積コミュニティセンター の整備	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 室積公民館の老朽化に伴い、地域コミュニティが抱える様々な課題の解決 や自主的な活動を支援するためのコ	工程計画	・基本計画・基本設計の策定	・基本計画・基本設計の策定 ・実施設計に着手	・実施設計の作成 ・建築工事に着手	・建築工事完了	
	ミュニティ活動の拠点として整備する。	予算	9 千円	10,005 千円	46,473 千円	381,831 千円	千円
	市民との協働の実践状況 担当部局	進捗・実績・成果等	実施中 〇(仮称)室積コミュニティセンター市民懇話会の開催 ・開催回数:4回 ・敷地の検討を中心とした意見交換	実施中 ○実施設計着手 【前年度計画分】 ○基本計画・基本設計の策定 ○(仮称)室積コミュニティセン ター市民懇話会の開催 ・開催回数:4回 ・基本計画・基本設計(案)に対する意見交換	実施中 ○実施設計の作成 ○建設工事の着手 ○(仮称)室積コミュニティセン ター活用ワークショップの開催 ・開催回数5回		
	市民部	進捗	計画より遅れている 25 %	計画どおり実施 175 %	計画どおり実施 100 %	% 	% エ田
		決算	9 千円	10,003 千円	150,231 千円	千円	千円

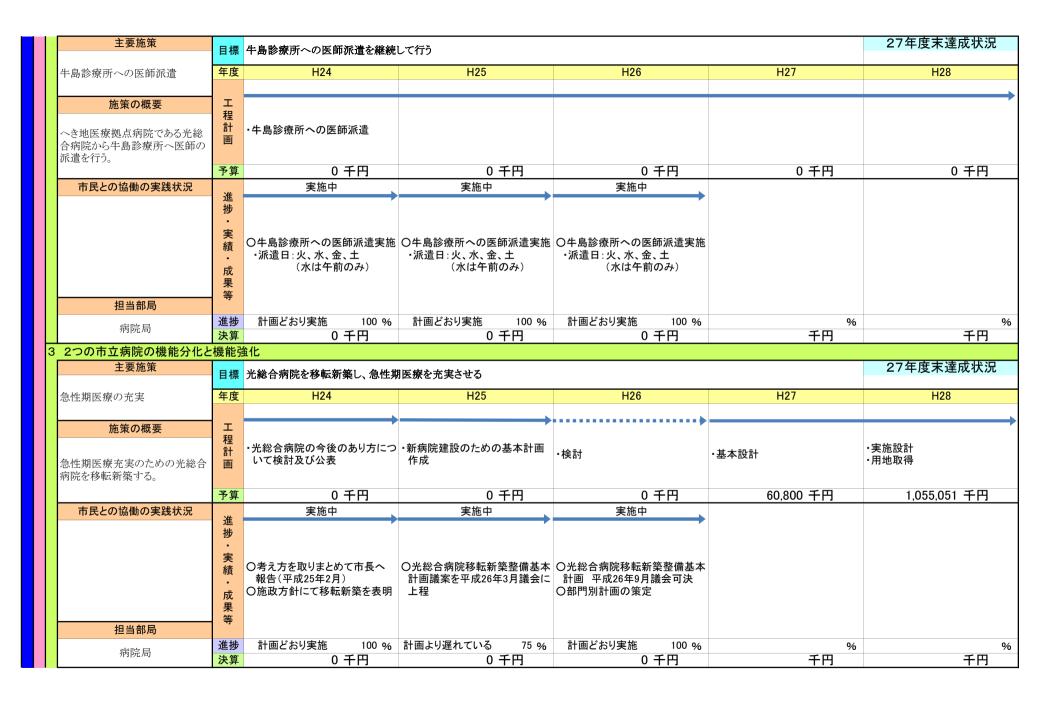
4	主体的な市民活動への支援						
	主要施策	目標	中間支援組織との協働による地域	づくり支援センターの運営を検討	し、機能強化に努める		27年度末達成状況
	地域づくり支援センターの機能強	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	化						
	施策の概要 将来的に市と協働で地域づくり支援センターの運営の一翼を担うことを検討するとともに中間支援組	工 程 計 画	・中核的人材育成事業の実施	・中間支援組織との協働による地域づくり市民講座等の実施	・中間支援組織との協働による地域づくり支援センターの運営について検討	・中間支援組織との協働による地域づくり支援センターの運営に ついて検討	・中間支援組織との協働による地域づくり支援センターの運営について検討
	織の育成を強化する。	予算	13,740 千円	8,108 千円	8,345 千円	7,865 千円	7,927 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	,	,
		進捗・実績・成果等	○市民活動活性化講座の開催 ・開催回数:7回 ・参加者数:103人	○市民活動活性化講座の開催 ・開催回数:8回 ・参加者数:207人 ○中間支援組織との定例会開催 ・開催回数:12回	○市民活動活性化講座の開催 ・開催回数:7回 ・参加者数:145人		
	担当部局	ਚ					
	市民部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	(作人)	決算	12,675 千円	7,591 千円	7,943 千円	千円	千円
	主要施策 「元気なまち協働推進事業」の推	目標	多様な主体が公益的な活動に参	加するための制度を構築し、市民力	りの活用を図る		27年度末達成状況
	元気なまり励制推進事業]の推 推	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	(市民公益活動助成制度)						
	施策の概要 市民の公益的な活動を支援する「市 民公益活動助成制度」を推進し、市 民団体等の活動支援や新たな市民 の公益的活動の参加を促進する。	程計画		・「市民公益活動助成制度」の 制度設計及び募集	・事業のPR及び実施	・事業のPR及び実施	・事業のPR及び実施・協働研修及び出会いカフェ
	*ンム血は11日動・シラがに促進する。	予算	千円	190 千円	2,050 千円	2,050 千円	2,206 千円
	市民との協働の実践状況 担当部局	進捗・実績・成果等		実施中 〇元気なまち協働推進事業 の募集 〇出会いカフェの開催 参加者43人(市民活動団 体等28人、市職員13人)	実施中 ○元気なまち協働推進事業 の募集 ・応募 20団体 採択 11団体 ○出会いカフェの開催 参加者 40人(市民活動団 体等 27人、市職員 13人)		
	市民部	進捗	%	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	■ H. XI/	決算	千円	52 千円	1,635 千円	千円	千円

5 地域づくりの中核を担う、新た	な地垣	はコミュニティ組織づくりの推進				
主要施策	目標	「コミュニティ推進基本方針」に基っ	づき、市民との協働による地域自治	推進のための対話・取組みを強化	する	27年度末達成状況
地域コミュニティ組織への支援	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	Н			———		
地域コミュニティの組織や拠点づくりを 推進するための基本方向や目標を示し	程 計 画	・「コミュニティ推進基本方針」策 定のための市民懇話会を開催	・「コミュニティ推進基本方針」の 策定	・「コミュニティ推進基本方針」の 策定 ・地域との対話スタート事業の	・「コミュニティ推進基本方針」に 基づく施策の推進 ・地域づくり「対話」「つながり」	・「コミュニティ推進基本方針」に 基づく施策の推進 ・地域づくり「対話」「つながり」
た「コミュニティ推進基本方針」を策定 し、市民との協働による地域自治を推 進する。				実施	事業	事業
	予算	9 千円(再掲)	502 千円(再掲)	511 千円(再掲)	961 千円(再掲)	338 千円(再掲)
市民との協働の実践状況	進捗	実施中	実施中	実施中		
	・実績・成果等	〇コミュニティ推進基本方針策定 懇話会の開催 ・開催回数:1回 ・地域コミュニティのあり方につ いて意見交換及び情報の共 有を図った	〇コミュニティ推進基本方針策定 懇話会の開催 ・開催回数:5回 ・市民懇話会の役割確認及び 策定に関する情報の共有を 図った	〇コミュニティ推進基本方針を策定 〇地域との対話スタート事業の実施(市内各公民館単位)		
担当部局	₹					
市民部			計画より遅れている 50 %	計画どおり実施 100 % 524 千円	% 千円	% 千円
■ 1 6 市民と行政が対等な立場で取	決算	3 千円 3 千円	500 千円	524 十円	一一一一	干円
主要施策		市民との協働による取組みを進め	、公共サービスの充実や既存事業	の再構築を図る		27年度末達成状況
「元気なまち協働推進事業」の推 推	年度	H24	H25	H26	H27	H28
(協働事業提案制度)	1 12		,			
施策の概要 市民からの提案と実践により、市 民サービスなどを提供する「協働 事業担条制度」な創むする	工 程 計 画		・「協働事業提案制度」の 制度設計及び募集	・「協働事業提案制度」の検討	・「協働事業提案制度」の検討	・事業のPR及び実施 ・「協働事業提案制度」の検討
■ 書来が条刑場 欠削討すり。						
事業提案制度」を創設する。	予算	千円	190 千円(再掲)	2,050 千円(再掲)	2,050 千円(再掲)	2,206 千円(再掲)
事業提条制度」を削設する。 市民との協働の実践状況	予算 進 捗	千円	190 千円(再掲) 実施中	2,050 千円(再掲) 実施中	2,050 千円(再掲)	2,206 千円(再掲)
	進捗・実績・成果	千円		,	2,050 千円(再掲)	2,206 千円(再掲)
	進捗・実績・成	千円	実施中 ○元気なまち協働推進事業 の募集 ○出会いカフェの開催 参加者43人(市民活動団	実施中 ○元気なまち協働推進事業 の募集 ・応募 20団体 採択 11団体 ○出会いカフェの開催 参加者 40人(市民活動団	2,050 千円(再掲)	2,206 千円(再場)

	主要施策	目標	多様な主体がアダプト・プログラム	ムへ参加できる仕組みづくりを推進す	ける		27年度末達成状況
	アダプト・プログラムの推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要	I					
	市民の主体的なまちづくりへの参画と 地域づくりの活性化を図るため、身近な 道路や公園を地域等で管理する「アダ プト・プログラム」を推進する。	画	・事業の実施	・事業の実施	・事業の実施	- 事業の実施	- 事業の実施
	> 1 > 1 > 1 > 1 > 1 = 1 E 1 E 1 E 1	予算	115 千円	87 千円	76 千円	77 千円	68 千円
	市民との協働の実践状況	' #	実施中	実施中	実施中		
		進捗・実績・成果等	〇環境美化ボランティア・サポート事業参加団体:12団体・市指定箇所:0/11箇所・参加団体指定箇所:12箇所	〇環境美化ボランティア・サポート事業参加団体:14団体 ・市指定箇所:0/11箇所・参加団体指定箇所:14箇所	〇環境美化ボランティア・サポート事業参加団体: 14団体 ・市指定箇所:0/11箇所 ・参加団体指定箇所: 14箇所		
	担当部局	`# +ı+	리프(SVII中# 100 ov		리프 마시니 다 100 0		
	市民部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 28 千円	計画どおり実施 100 % 28 千円	計画どおり実施 100 % 52 千円		
I	 地域包括ケアシステムの創造		20 111		02 111	111	113
1	包括的・総合的な地域包括ケ	ア体制	の構築				

主要施策	目標	平成24~26年度で医療介護連携	システムを構築し、平成27~29年』	度で高齢者支援システムの構築を	目指す	27年度末達成状況
地域包括ケアシステムの構築	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	工程	〇医療介護連携システム構築に向け た取り組み	〇医療介護連携システム構築に向け た取り組み	〇医療介護連携システム構築に向けた取り 組み ・地域包括ケアシステム構築に向けた基本	○医療介護連携システムの推進 ・在宅医療介護連携事業	〇医療介護連携システムの推進 ・在宅医療介護連携事業
本市の地域包括ケアシステムの構築に向けた調査研究を行う。	計画	・地域包括ケアシステム庁内検討会 設置・在宅医療等実態調査	・地域包括ケアシステム考察事業・医療連携等実態調査・在宅医療推進体制調査研究事業	的方向性の提示 〇高齢者支援システム構築に向けた調査 研究	〇高齢者支援システム構築に向けた 取り組み ・介護支援ボランティアポイント事業	〇高齢者支援システム構築に向けた 取り組み ・介護支援ボランティアポイント事業
	予算	174 千円	1,147 千円	314 千円	341 千円	2,049 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中	•	
担当部局	- 渉・実績・成果等	○地域包括ケアシステム庁内検討会を設置 ・市長部局及び病院局(4部局7課(室))の 横断的な組織による意見交換・検討を 実施 ・会議回数:2回 ○在宅医療等実態調査を実施 ・在宅医療の実施状況や関係機関との連携 状況などの実態を把握し、基礎資料とした ・調査対象: 市内病院・診療所 37医療機関 訪問看護ステーション3事業所	○地域包括ケアシステム考察事業 ・本市の現状を分析し、課題・問題点の整理及び考察を実施 ○医療連携等実態調査 ・在宅医療の実施状況や医療と介護の連携状況など実態を把握した。 ・調査機関・連料診療所20機関、薬局24薬局、介護老人保健施設2施設、居宅介護支援事業所16事業所 ○在宅医療推進体制調査研究事業 ・在宅医療産過じて得た在空療養者のニーズを介護 との連携によりサービス提供に繋げる事業を実施	○医療介護選携システム構築に向けた取組み ・実態態差結果、者等事業の反果を證まえ、システム構築に向けた 基本的方向性を何度、地能位置かア村田心位置が 市高給者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画」にその方向 性を反映。 ・運免のは情報連携シートの対象を従来の原機機関の他、居宅介護 支援事業所が出入、拡充して試行的に運施。 ○高給者支援システム構築に向けた損害研究 ・高齢者支援・システム構築に向けた損害研究 ・高齢者支援・システム機能に向けた損害研究 ・高齢者支援・システム機能に向けた損害研究 ・高齢者支援・システム機能に向けた損害研究 ・高齢者支援・システムの異体の事業の一つとして介護支援ボランティ ・万億施等に対けるボランティアの受入れに関するアンケート調査 の実施し、現状を把握した。		
2 00002	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	96	%
福祉保健部	決算	80 千円	1,117 千円	313 千円	千円	千円

主要施策	目標	牛島診療所の運営を継続し、離島	よにおける地域医療を確保する			27年度末達成状況
焦島における医療の確保	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 焦島における医療を確保するた 、牛島診療所の運営を継続す	工程計画	・平成18年度から指定管理者制度を導入し、牛島衛生組合に診療所の管理運営を委託	・牛島衛生組合に診療所の管理 運営を委託・新たな指定管理者の指定	・指定管理者制度の導入により、 牛島衛生組合に診療所の管理 運営を委託	・指定管理者制度の導入により、 牛島衛生組合に診療所の管理 運営を委託	・指定管理者制度の導入によ 牛島衛生組合に診療所の管 運営を委託
	予算	92 千円	1,597 千円	4,089 千円	4,119 千円	4,102 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
担当部局	捗・実績・成果等	〇診療日:火、水、金、土 (水は午前中のみ) 〇延べ受診者数:1,142人	○平成28年度までの指定管理 者として牛島衛生組合を指定 ○診療日:火、水、金、土 (水は午前中のみ) ○延べ受診者数:1,127人	○平成28年度までの指定管理 者として牛島衛生組合を指定 ○診療日:火、水、金、土 (水は午前中のみ) ○延べ受診者数:916人		
福祉保健部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 83 千円	計画どおり実施 100 % 1,595 千円	計画どおり実施 100 % 4,047 千円	% 千円	千円
主要施策		大和総合病院の医療機能充実及				27年度末達成状況
和総合病院の医療機能充実及 安定的、継続的な運営	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 和地域の医療を確保するた 大和総合病院の運営に関し、 率的な経営に努め、経営基盤	工程計画	・大和総合病院の効率的な経営・回復期リハビリ病棟の開設				
強化に努める。 	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
担当部局	捗・実績・成果等	○大和総合病院経常収支比率: 100.7% ○回復期リハビリ病棟開設 (平成24年4月1日)	〇大和総合病院経常収支比率: 102.8%	〇大和総合病院経常収支比率: 109.6%		
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	
病院局	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円



	主要施策	月標	 大和総合病院の機能充実を図る				27年度末達成状況
	大和総合病院の医療機能充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	S CHARLE IT // SIDE IT I I SALES BOOK						_
	施策の概要 大和総合病院の医療機能の充実 を図る。	工 程 計 画	・回復期リハビリ病棟開設 ・医療機器整備	- 医療機器等整備	·医療機器等整備	•医療機器等整備	- 医療機器等整備
		予算	0 千円	28,980 千円	44,696 千円	30,900 千円	59,700 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中		30,700 113
	担当部局	進捗・実績・成果等	○回復期リハビリ病棟開設 (平成24年4月1日) ○医療機器整備 (上部消化管汎用スコープ他)	〇医療機器整備 (X線骨密度測定装置他)	〇医療機器整備 (移動型X線撮影装置他)		
	担当即问	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	病院局	決算	100 % 0 千円	25,409 千円	41,957 千円	千円	千円
4	高齢者や障害者を支える地域	域福祉さ			11,007 111		113
	主要施策	日堙	老人クラブ等関係機関と連携した	定期的か訪問目守り活動を継続し	で宝施する		27年度末達成状況
	the file of the country of the count		·			1107	1100
	高齢者の地域見守り体制の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 高齢者保健福祉実態調査の実施 及び老人クラブ会員や福祉員に より、一人暮らし等の在宅高齢者 の定期的な訪問を行う。	画	・地域団体等と連携し訪問見守り 活動等を実施することにより地 域や近所とのつながりを促進	・地域団体等と連携し訪問見守り 活動等を実施することにより地 域や近所とのつながりを促進	・地域団体等と連携し訪問見守り活動 等を実施することにより地域や近所 とのつながりを促進 ・次期計画策定の中で、あり方を検討	・地域団体等と連携し訪問見守り 活動等を実施することにより地 域や近所とのつながりを促進	・地域団体等と連携し訪問見守り 活動等を実施することにより地 域や近所とのつながりを促進
		予算	848 千円	717 千円	713 千円	649 千円	693 千円
	市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
		抄。宝	○高齢者保健福祉実態調査の実施 ・高齢者訪問:2,763世帯 ○友愛訪問活動事業実施 ・老人クラブ訪問:67単位、357件 ・福祉員訪問:295人、1,509件 ■高齢者福祉対策の充実に関する 満足度:26.1%	○高齢者保健福祉実態調査の実施 ・高齢者訪問:2,797世帯 ○友愛訪問活動事業実施 ・老人クラブ訪問:67単位、349件 ・福祉員訪問:283人、1,414件 ■高齢者福祉対策の充実に関する 満足度:26.9%	○高齢者保健福祉実態調査の実施 ・高齢者訪問:2.897世帯 ○友愛訪問活動事業実施 ・老人クラブ訪問:67単位、334件 ・福祉員訪問:265人、1,373件 ・岡崎・東守り活動に関する協定の締結 ・民間事業所:7事業所 ■高齢者福祉対策の充実に関する 満足度:30.1%		
		٠,					
	担当部局	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%

	主要施策	目標	関係機関や地域住民によるネット	ワーク体制を構築、強化し、障害の	ある人が住み慣れた地域で安心し	て生活ができるよう支援する	27年度末達成状況
	光市地域自立支援協議会の活用	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 光市地域自立支援協議会において、地域での受け入れ体制の基 盤整備・情報発信・ネットワークづ	工程計画	・「地域生活」「就労」「教育」の視点で、当事者や家族、関係機関により協議・取組み	・「地域生活」「就労」「教育」に「権利擁護」の視点を加え、虐待予防等を通じて、地域ネットワークの必要性を周知・啓発	係機 関により協議・取組み	・「地域生活」「就労」「教育」「相談・権利擁護」の視点で当事者や家族、関係機関により協議、取組み・共生社会の実現に向け、相互理解や地域ネットワーク等の必要性を周知、啓発	・「地域生活」「就労」「教育」「相談・権利擁護」の視点で当事者や家族、関係機関により協議、取組み・共生社会の実現に向け、相互理解や地域ネットワーク等の必要性を周知、啓発
	くりについて協議・取組みを行う。	予算	356 千円	480 千円	453 千円	260 千円	414 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中		
	担当部局	大	○イベントを通じたPR活動の実施 ○「発達障害支援者研修会」を通じた障害へ の理解促進 ○支援者間で共有し、適切な支援へ繋げるよう「障害者サービス情報マップ」を作成 ○活動回数:20回 ■障害者福祉対策の充実に関する満足度 :21.2%	○イベントを通じたPR活動の実施 ○「発達障害支援者研修会」を通じた障害へ の理解促進(参加者:84人) ○「障害者虐待予防講演会」を通じた障害へ の理解促進(参加者:80人) ○活動回数:23回 ■障害者福祉対策の充実に関する満足度 :22.5%	○イベントを通じたPR活動の実施 ○「発達支援研修会」を通じた障害への 理解促進(参加者: 43人)※参加者を支援 者に限定) ○活動回数: 24回 ■障害者福祉対策の充実に関する満足度 : 23.8%		
	担当即问	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	福祉保健部	決算	175 千円	193 千円	244 千円	千円	千円
5	高齢者の権利擁護と認知症す				,		
	主要施策	目標	高齢者の権利を守るため、複雑・	多様化する高齢者の問題解決に向	け、支援体制を整備する		27年度末達成状況
	権利擁護事業の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 成年後見制度など高齢者の権利 を擁護する事業の周知や利用促 進を支援する。	工程計画	・虐待予防講演会の開催 ・権利侵害が疑われる虐待や消 費者被害の予防に関する啓発	・虐待予防講演会の開催・成年後見制度の周知や利用促進	・虐待予防講演会の開催 ・成年後見制度の周知や利用促進 ・次期計画策定の中で、あり方を検 討	・虐待予防講演会の開催・成年後見制度の周知や利用促進	・虐待予防講演会の開催・成年後見制度の周知や利用促進
		予算	168 千円	206 千円	175 千円	91 千円	203 千円
	市民との協働の実践状況		実施中		+++ <u>-</u>		
		144	大心士	実施中	実施中		
		進 捗	关 爬干	実施中	美.他中		
	担当部局		〇虐待予防講演会の開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:73人 〇高齢者虐待への対応:16件 〇消費者被害予防の啓発:12回	実施中 ○虐待予防講演会の開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:100人 ○高齢者虐待への対応:19件 ○消費者被害予防の啓発:12回	実施中 ○虐待予防講演会の開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:106人 ○高齢者虐待への対応:24件 ○消費者被害予防の啓発:13回		
	担当部局福祉保健部	捗・実績・成果等	○虐待予防講演会の開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:73人 ○高齢者虐待への対応:16件	○虐待予防講演会の開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:100人 ○高齢者虐待への対応:19件	○虐待予防講演会の開催 ・開催回数:1回 ・参加者数:106人 ○高齢者虐待への対応:24件	%	96

主要施策	目標	市民の認知症への啓発を図り、讃	※知症高齢者への支援体制を強化	 する		27年度末達成状況
認知症サポーターの育成及び活	年度	H24	H25	H26	H27	H28
用						
施策の概要 認知症を正しく理解し、認知症になっても地域で安心して暮らせるよう、研修会等の開催により市民	程計画	・認知症サポーター養成講座の 開催(随時)	・認知症サポーター養成講座の 開催(随時)	・次期計画策定の中で活用について検討	・認知症サポーター養成講座の 開催(随時)・認知症サポーターレベルアップ プ研修の実施	・認知症サポーター養成講座の 開催(随時)・認知症サポーターレベルアップ 研修の実施
への啓発を行う。	予算	125 千円	125 千円	131 千円	175 千円	175 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	捗・実績・成	○認知症サポーター養成講座の開催・開催回数:20回・受講者数:1,278人■認知症サポーター総数:	○認知症サポーター養成講座の開催 ・開催回数:13回 ・受講者数:609人	○認知症サポーター養成講座の開催・開催回数:12回・受講者数:717人■認知症サポーター総数:		
担当部局	等	5,020人	5,629人	6,341人		
福祉保健部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 125 千円	計画どおり実施 100 % 116 千円	計画どおり実施 100 % 111 千円	% 千円	% 千円
6 地域包括支援センターの機能	強化					
主要施策	目標	地域ケア会議を開催することによ	り、地域の課題を把握し、解決に向	けて検討する		27年度末達成状況
地域ケア会議の開催による課題の把握及び検討	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 包括的支援事業の効果的な実施 のために、高齢者の日常生活支 援について関係者との連携を図	工程計画	○地域ケア会議の開催・個別ケースに対するケアマネジメント支援	〇地域ケア会議の開催 ・「在宅医療推進体制調査研究 事業」における医師会提出の 事例について検討	○地域ケア会議の開催 ・地域の課題の把握	○地域ケア会議の充実 ・地域ケア個別会議 ・地域ケア連絡会議 ・地域ケア連絡会議 ・地域ケアを討会議 ・地域ケア全体会議	○地域ケア会議の充実 ・地域ケア個別会議 (自立支援型介護予防ケアマネジメント導入) ・地域ケア連絡会議 ・地域ケア連絡会議 ・地域ケア全体会議
<u> </u> వ.	予算	0 千円	0 千円	0 千円	209 千円	266 千円
市民との協働の実践状況	進步・宇	実施中	実施中 ○地域ケア会議の開催	実施中		
担当部局	実績・成果等	○地域ケア会議の開催 ・開催回数:25回 ・処遇困難な個別ケースの問題 解決に努めた	・開催回数: 17回 (再掲) ・在宅医療推進体制調査研究 事業における事例検討件数 : 4件	・開催回数:17回 ・個別ケース会議から出た地域 課題の把握		
福祉保健部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
四世小佐印	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

主要施策	目標		、あらゆる関係機関と連携を図り、	移様化する相談に適切に対応する		27年度末達成状況
高齢者への相談支援体制の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 複雑・多様化している相談内容に 適切な対応ができるよう高齢者へ の相談体制の充実を図る。	計画	〇総合相談の充実 ・相談窓口の周知 ・職員の資質の向上	〇総合相談の充実 ・職員の資質の向上	〇総合相談の充実 ・職員の資質の向上、・相談面接の マニュアル化、・関係機関との連携 強化、・もの忘れ相談会の開催 〇次期計画策定の中であり方を検討	〇総合相談の充実 ・職員の資質の向上、・関係機関との連携強化、・もの忘れ相談日の設定、・認知症地域支援推進員の配置、・認知症ケアパスの作成	○総合相談の充実 ・職員の資質の向上、・関係機関との 連携強化、・もの忘れ相談日の実施 ・認知症地域支援推進員による相 談、・認知症ケアパスの普及
	予算	5,948 千円	5,948 千円	6,029 千円	7,219 千円	6,096 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	実施中 〇相談人数 ・地域包括支援センター: 延べ 1,665人 ・4在宅介護支援センター: 延べ 3,081人	実施中 ○相談人数 ・地域包括支援センター: 延べ 1,869人 ・4在宅介護支援センター: 延べ 3,505人	実施中 ○相談人数 ・地域包括支援センター: 延べ 1,790人 ・4在宅介護支援センター: 延べ 3,499人 ・もの忘れ相談会 1回		
担当部局	\# 11F			51.75.15.11.17.1 1.1		
福祉保健部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 5,938 千円	計画どおり実施 100 % 5,897 千円	計画どおり実施 100 % 5,988 千円	% 千円	
7_地域包括ケアシステムを支え	るサー	ビス体制の充実				
主要施策	目標	平成26年度に第6期介護保険事	業計画を策定し、充実した介護サー	ービスの提供に努める		27年度末達成状況
				= 1 1 3 5 5 7 11 = 33 13 5		
第6期介護保険事業計画の策定 及び推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
及び推進	工程計画		H25 ・第6期介護保険事業計画のための日常生活圏域ニーズ調査の実施		H27 ・第6期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗 状況等の協議	H28 ・第6期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗状況等の協議 ・第7期介護保険事業計画策定のための日常 生活圏域ニーズ調査の実施
及び推進 施策の概要 本市の実情に合った地域包括ケアシステムを構築するため、介護保険法に基	工程計画	H24 千円	・第6期介護保険事業計画のた めの日常生活圏域ニーズ調査	H26 ・第6期介護保険事業計画の	・第6期介護保険事業計画に基づく介 護サービスの基盤整備及び適正な 介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗	・第6期介護保険事業計画に基づく介護サビスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗状況等 の協議 ・第7期介護保険事業計画策定のための日常
及び推進	工程計画		・第6期介護保険事業計画のための日常生活圏域ニーズ調査 の実施	H26 ・第6期介護保険事業計画の 策定	・第6期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗 状況等の協議	・第6期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗状況等 の協議 ・第7期介護保険事業計画策定のための日常 生活圏域ニーズ調査の実施
及び推進 施策の概要 本市の実情に合った地域包括ケアシステムを構築するため、介護保険法に基づき、平成26年度に第6期介護保険事業計画を策定する。 市民との協働の実践状況	工程計画 算 進捗・実績・成果		・第6期介護保険事業計画のための日常生活圏域ニーズ調査の実施 2,425 千円 実施中 ○調査時期 26年1月 ○調査対象者数2,000人 ○有効回収数1,657人 ○回収率82.9%	H26 ・第6期介護保険事業計画の策定 13 千円 実施中 ・計画策定方針を市民協議会で協議(9月) ・中間報告を市民協議会で協議(12月) ・パブリックコメント実施(1月) ・最終計画を市民協議会で協議(3月)	・第6期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗 状況等の協議	・第6期介護保険事業計画に基づく介護サービスの基盤整備及び適正な介護サービスの提供 ・市民協議会において同計画の進捗状況等 の協議 ・第7期介護保険事業計画策定のための日常 生活圏域ニーズ調査の実施

護予防対策の推進		要支援・要援護状態になることを予	努める	27年度末達成状況		
	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 基本チェックリスト」等による生活 能低下の早期発見、介護予防 対する意識啓発及び介護予防 空実施等による悪化予防を図	工程計画	・基本チェックリストの回収率を向上し、「特定高齢者」を早期に発見、適切な介護予防事業への利用につなげる	・基本チェックリストの回収率を向上し、「特定高齢者」を早期に発見、適切な介護予防事業への利用につなげる	・基本チェックリストの回収率を向上し、 「特定高齢者」を早期に発見、適切な 介護予防事業への利用につなげる ・次期計画策定の中で、あり方を検討	・在宅介護支援センターや民生委員、 児童委員との連携強化を図り、基本 チェックリスト等による「特定高齢者」 の把握を進めるとともに、適切な介 護予防事業の利用につなげる	・在宅介護支援センターや民生委員 児童委員との連携強化を図り、基オ チェックリスト等による「特定高齢者 の把握を進めるとともに、適切な介 護予防事業の利用につなげる
٥	予算	4,432 千円	3,016 千円	2,317 千円	1,116 千円	309 千円
担当部局	実績・成果等	達者へ送付 ・送付数:891人 ・返送数:382人 ・回収率:42.8% 〇介護予防サービス利用者数: 98人	75歳到達者へ送付 ・送付数: 2,691人 ・返送数: 1,253人 ・回収率: 46.6% 〇介護予防サービス利用者数: 83人	○基本チェックリストを新65・70・75歳到達者へ送付・送付数: 2,541人・返送数: 1,134人・回収率: 44.6% ○介護予防サービス利用者数: 94人		
福祉保健部		計画より遅れている 75 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	9/
	決算	3,060 千円	721 千円	801 千円	千円	千円
『庭の子育て応援体制の創造 <mark>子ども医療費の無料化継続と</mark>		2.母の世光				
主要施策		予ども医療費等の無料化を継続し	て実施する			27年度末達成状況
ども医療費等助成制度の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28

1 于とも医療質の無料化粧粉	と母士	保健の推進				
主要施策	目標	子ども医療費等の無料化を継続し	て実施する			27年度末達成状況
子ども医療費等助成制度の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	Ι	***			**************************************	
乳幼児医療費・ひとり親家庭医療費。 助成や小学校就学後から高校3年生 入院にかかる医療費の助成(子どもB 療費)を市独自で実施する。	の画	・一部自己負担について、本市独 自施策として無料化を継続 ・子ども医療費の助成範囲を高校 生まで拡大	. 車業維結宇施	•事業継続実施	・事業継続実施 ・小学1〜3年生は入院に加えて、 通院、歯科、調剤を助成範囲に 追加(H27.3補正)	・事業継続実施
	予算	130,660 千円	121,897 千円	119,751 千円	116,009 千円	136,686 千円
市民との協働の実践状況	`#	実施中	実施中	実施中		
	進捗・実績・成果等	〇子ども医療費助成制度について、中学校修了前から高校修了前(満18歳に達する日以後最初の3月31日までの者)に拡大 〇助成対象 ・乳幼児医療費:1,999人 ・ひとり親医療費:21人		○助成対象 ・乳幼児医療費:1,915人 ・ひとり親医療費:777人 ・子ども医療費:21人		
担当部局						
福祉保健部	進捗		計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
四世水陸即	決算	130,491 千円	114,041 千円	108,784 千円	千円	千円

	主要施策	目標	母体と胎児の健康を守るとともに、	安心して出産できる体制の充実を	 図る		27年度末達成状況
妊娠・出産ケ	アシステムの充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
安心して出産るため、妊婦	を をできる体制を構築す を は診や不妊・不育症 、妊婦訪問等を実施	程計画	・妊婦健診(14回)と不妊治療費補助の継続実施 ・妊婦訪問、妊婦相談を随時実施 ・ハイリスク妊婦への継続支援	・妊婦健診(14回)の継続実施と妊婦訪問、相談を随時実施 ・ハイリスク妊婦への継続支援 ・不妊治療費補助の継続と不育症治療費補助事業の新設 ・ハイリスク妊婦名簿の作成と出産後の継続管理強化	問、相談を随時実施 ・ハイリスク妊婦 への継続支援 ・不妊・不育症治療費の	・妊婦健診(14回)の継続実施と妊婦訪問、相談を随時実施・ハイリスク妊婦への継続支援・不妊・不育症治療費の継続補助・ハイリスク妊婦名簿の作成と出産後の継続管理強化	
9 00		予算	47,043 千円	45,914 千円	47,041 千円	46,077 千円	46,086 千円
市民との	D協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	担当部局	逆捗・実績・成果等	○妊婦健診14回の平均受診率: 98.5% ○一般不妊治療費助成事業によ る妊娠成立数:15件 (申請者の30%)	る妊娠成立数:10件 (申請者の21.3%)	○妊婦健診14回の平均受診率: 95.8%○一般不妊治療費助成事業による妊娠成立数:15件 (申請者の22.1%)○不育症治療費補助制度申請数:1件		
有	畐祉保健部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
0. マネエレ	上末の玉土の土垣	決算	42,012 千円	38,591 千円	40,438 千円	千円	千円
	子育てと仕事の両立の支援						27年度末達成状況
	主要施策	目標	保護者のニーズに応じた多様な特	別保育を継続して実施する			27年及不连队认为
各種保育事	業の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
一時預かり、 育、休日保証 など、多様な	他策の概要 延長保育、障害児保育、病児・病後児保育、病児・病後児保育	工 程 計 画	・各保育園で一時預かり、延長保育、 障害児保育を実施 ・浅江南保育園で休日保育を実施 ・病児・病後児保育施設で病児・病後 児保育を実施	・各保育園で一時預かり、延長保育、 障害児保育を実施 ・浅江南保育園で休日保育を実施 ・病児・病後児保育施設の改修により 他市施設にて病児・病後児保育を 実施	・各保育園で一時預かり、延長保育、 障害児保育を実施・浅江南保育園で休日保育を実施・病児・病後児保育施設の改修により 他市施設にて病児・病後児保育 を実施	・各保育園で一時預かり、延長保育、 障害児保育を実施 ・浅江南保育園で休日保育を実施 ・病児・病後児保育施設で病児・病後 児保育を実施	•事業継続実施
<u>る。</u>		予算	64,894 千円	60,467 千円	61,045 千円	43,482 千円	49,259 千円
	D協働の実践状況 担当部局	進捗・実績・成果等	実施中 ○実施箇所数及び人数 ・延長保育:12か所、81人/日 ・障害児保育:9か所、23人/日 ・一時預かり:11か所、延べ 1,194人 ・ホリデイ保育:1か所、2人/日 ※障害児保育は全園受入可能	実施中 ○実施箇所数及び人数 ・延長保育:12か所、91人/日 ・障害児保育:8か所、20人/日 ・一時預かり:11か所、延べ 1,326人 ・ホリデイ保育:1か所、1人/日 ※障害児保育は全園受入可能	実施中 ○実施箇所数及び人数 ・延長保育:12か所、94人/日 ・障害児保育:10か所、26人/日 ・一時預かり:11か所、延べ 870人 ・ホリデイ保育:1か所、2人/日 ※障害児保育は全園受入可能		
ż		進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
1	出江下医印	決算	64,703 千円	54,449 千円	65,158 千円	千円	千円

	主要施策	目標	安心して保育所や幼稚園に預ける	ことができる環境を構築するために	こ、子育て世代の経済的負担の軽減	域を継続して実施する	27年度末達成状況
保育料	等の軽減の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
ため、「	施策の概要 世帯の経済的負担軽減の 同一世帯同時入所の第2 の保育料を無料化する。	工 程 計 画	○平成20年度から、同一世帯同 時入所の第2子以降の保育料 を無料化 ・事業継続実施	・事業継続実施	・事業継続実施 ・平成27年度子ども・子育て支援 新制度の開始に伴い、適切な保 護者負担を検討	・子ども・子育て支援新制度開始 に伴う検討の結果、引続き事業 実施	•事業継続実施
1	· ////////////////////////////////////	予算	46,340 千円	47,800 千円	47,500 千円	50,570 千円	46,561 千円
市	民との協働の実践状況	.,,	実施中	実施中	実施中		
L	担当部局	進捗・実績・成果等	〇保育園 ・保育園同時入所第2子無料化 影響額:44,743千円 〇幼稚園 ・公立幼稚園同時入所第2子無料 化 影響額:0千円 ・私立幼稚園保育料等負担軽減 補助金 実績:2,216千円	〇保育園 ・保育園同時入所第2子無料化 影響額:47,339千円 〇幼稚園 ・公立幼稚園同時入所第2子無料 化 影響額:0千円 ・私立幼稚園保育料等負担軽減 補助金 実績:1,201千円	〇保育園 ・保育園同時入所第2子無料化 影響額:49,521千円 〇幼稚園 ・公立幼稚園同時入所第2子無料 化 影響額:0千円 ・私立幼稚園保育料等負担軽減 補助金 実績:475千円		
	福祉保健部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	怡仙木)	決算	46,959 千円	48,540 千円	49,996 千円	千円	千円
3 留守	家庭児童教室(サンホー	ム)の	充実				
	主要施策	目標	待機児童0人を維持するとともに、	保育サービスの向上を図る			27年度末達成状況
サンホ・	ームの管理・運営の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
/II =# -\v	施策の概要	工				・対象学年を4年生まで拡大	—————————————————————————————————————
にいな 児童を	が就労等により、昼間家庭 い小学校に就学している 保育し、子育て環境の充 が保竜の健全育成の推進を	程計画	・月〜金曜日までの保育時間を 午後7時まで延長	・防犯対策の充実・長期休業中における指導員の 増強	・待機児童O人の維持 ・保育サービスの向上	・利用者負担の適正化(8月分 保育料を5,000円に改定) ・待機児童0人の維持 ・保育サービスの向上	対象学年を5年生まで拡大・待機児童0人の維持・保育サービスの向上・年次的に嘱託職員の配置
にいな 児童を	い小学校に就学している	計		・長期休業中における指導員の		・利用者負担の適正化(8月分 保育料を5,000円に改定) ・待機児童0人の維持	・待機児童0人の維持 ・保育サービスの向上
にいな 児童を 実及び 図る。	い小学校に就学している 保育し、子育て環境の充	予算	午後7時まで延長	・長期休業中における指導員の増強	・保育サービスの向上	・利用者負担の適正化(8月分 保育料を5,000円に改定) ・待機児童0人の維持 ・保育サービスの向上	・待機児童0人の維持 ・保育サービスの向上 ・年次的に嘱託職員の配置
にいな 児童を 実及び 図る。	い小学校に就学している 保育し、子育て環境の充 児童の健全育成の推進を	計画	午後7時まで延長 45,447 千円	・長期休業中における指導員の 増強 49,610 千円	・保育サービスの向上 48,289 千円	・利用者負担の適正化(8月分 保育料を5,000円に改定) ・待機児童0人の維持 ・保育サービスの向上	・待機児童0人の維持・保育サービスの向上・年次的に嘱託職員の配置
にいな 児童を 実及び 図る。	い小学校に就学している ・保育し、子育て環境の充 ・保育の健全育成の推進を 民との協働の実践状況	計画第進捗・実績・成果	午後7時まで延長 45,447 千円 実施中 ○待機児童0人の維持 ○月~金曜日までの保育時間を 午後7時まで延長(平成24年7 月から) ○指導員研修の実施 ・実施回数:4回	・長期休業中における指導員の増強 49,610 千円 実施中 ○待機児童0人の維持 ○長期休業中は保育支援をシルバー人材センターに委託 ・実施回数:6回	・保育サービスの向上 48,289 千円 実施中 ○待機児童0人の維持 ○長期休業中は保育支援をシルバー人材センターに委託 ○指導員研修の実施 ・実施回数:6回	・利用者負担の適正化(8月分 保育料を5,000円に改定) ・待機児童0人の維持 ・保育サービスの向上	・待機児童0人の維持・保育サービスの向上・年次的に嘱託職員の配置

主要施策	目標	地域における子育て支援機能を高の移行を目指す。	あめるため、①相談機能の強化、②	各園独自の特色ある事業を実施し	、平成26年度以降の「わ」事業へ	27年度末達成状況
子育て支援の「わ」事業の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 各幼保育園を地域における子育 て支援の核に位置づけ、子育て 家庭の身近な交流・相談の場とし	工 程 計 画	・園開放、園庭開放 ・子育で等に関する相談業務 ・保育出前講座の実施	・本事業への取組みについて、 各園ごとに目指すべきビジョン・ 方向性を実施計画として整理	・実施計画に沿い、各園独自性を 持った子育て支援の「わ」事業と して計画的に実施	・計画的に事業実施 ・取り組みを私立園に拡大	・計画的に事業実施
て事業を展開する。	予算	841 千円	844 千円	674 千円	600 千円	600 千円
市民との協働の実践状況	,,,,	実施中	実施中	実施中		
担当部局	進捗・実績・成果等	○園開放、園庭開放の実施 ・全園実施:227回・年間利用者: 4,120人 〇子育て等相談件数 ・全園実施:104件 ○保育出前講座の実施 ・全園実施:6回・参加者:278人 ■子育て支援対策の充実に関する 満足度:31.6%	○園開放、園庭開放の実施 ・全園実施:222回·年間利用者: 3.809人 ○子育て等相談件数 ・全園実施:76件 ○保育出前講座の実施 ・全園実施:6回・参加者:362人 ■子育て支援対策の充実に関する 満足度:34.2%	○園開放、園庭開放の実施 ・全園実施:192回・年間利用者: 2,719人 ○子育て等相談件数 ・全園実施:46件 ○保育出前講座の実施 ・全園実施:6回・参加者:333人 ■子育て支援対策の充実に関する 満足度:31.3%		
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	Ç
福祉保健部	決算	811 千円	565 千円	457 千円	千円	千円
主要施策	目標	家庭・地域・行政が一体となった子				27年度末達成状況
ひかり子育て見守りネットワーク事 業の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 地域から子育てを応援、手助けできるよう 子育てサポーターを市民から募集、各園・ 小中学校に子育て支援コーディネーター を配置し、子育て家庭からの相談や支援	工程計画		・地域子育でサポーターに関する詳細設計・職員子育でサポーターに関する詳細設計・協議 ・子育で支援コーディネーターの養成	・地域サポーターの周知・団体への協力依頼 ・職員子育てサポーターの養成・子育て支援コーディネーターの養成	・ひかり子育てサポーター(市民)の募集 ・養成 ・子育でサポーター(職員)の継続実施 ・子育で支援コーディネーターの継続実施	・ひかり子育てサポーター(市民・職員)の継続実施 ・子育て支援コーディネーターの 継続実施
を行う。	予算	千円	60 千円	74 千円	298 千円	266 千円
市民との協働の実践状況担当部局	進捗・実績・成果等		協議・検討中 ・職員子育でサポーター養成のため、児童虐待についての研修を行った。(2回:161名が受講済)・子育て支援コーディネーターを市内幼稚園・保育園より34名を選出し、研修(5回)を行った。	実施中 ・職員子育でサポーター養成研修実施、2回、185人・子育で支援コーディネーターを市内保育園・幼稚園・小中学校より、合計52人選出		
担当部局			1			
担当前向 福祉保健部	進捗	%	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	

主要施策	目標	養育不安を抱える家庭への積極的	的な訪問により、将来的な虐待要因	リスクの低減を図る		27年度末達成状況
と を育支援訪問事業の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 保健師をはじめ助産師・臨床心理 七等が養育支援を特に必要とす 3家庭に訪問し、指導・助言等を	工 程 計 画	・実施要綱の制定 ・養育支援検討会議の設置及び 会議の開催 ・事業実施	事業実施養育支援検討会議の開催	・事業実施 ・養育支援検討会議の開催	事業実施養育支援検討会議の開催	事業実施養育支援検討会議の開催
実施する。	予算	91 千円	95 千円	95 千円	95 千円	95 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
担当部局	逆捗・実績・成果等	○養育支援検討会議の開催:2回 ○専門的訪問件数:4件 ○保健師訪問件数:390件	○養育支援検討会議の開催:1回 ○専門的訪問件数:4件 ○保健師訪問件数:360件	○養育支援検討会議の開催:1回 ○専門的訪問件数:1件 ○保健師訪問件数:400件		
福祉保健部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	
主要施策	決算	44 千円	19 千円	13 千円	千円	千円 27年度末達成状況
土安肥束	目標	乳幼児期の異常の早期発見早期	支援とともに、保護者の育児不安に	こ対する支援を充実する		27年及木连风仏流
礼幼児相談と支援体制の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 乳幼児の健やかな成長と保護者 への支援のため、乳幼児訪問、育 見相談、保健指導、5歳児発達相	工程計画	・乳幼児訪問、育児相談、保健指 導、5歳児発達相談事業の継続 実施		 ・乳幼児訪問、育児相談、保健指導、5歳児発達相談事業の継続実施 ・要支援母子のデータ化とカンファレンスの充実 	 ・乳幼児訪問、育児相談、保健指導、5歳児発達相談事業の継続実施 ・要支援母子のデータ化とカンファレンスの充実 	・乳幼児訪問、育児相談、保修 導、5歳児発達相談事業の終 実施 ・要支援母子のデータ化とカンファレンスの充実
炎事業を実施する。 	予算	1,276 千円	1,319 千円	1,316 千円	1,413 千円	1,434 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
		〇乳幼児訪問件数:516件 〇育児相談件数:1,158件 〇5歳児発達相談受診者数:49人	〇乳幼児訪問件数:570件 〇育児相談件数:1,074件 〇5歳児発達相談受診者数:41人	〇乳幼児訪問件数:548件 〇育児相談件数:1,066件 〇5歳児発達相談利用者数:46人		
to vy to to						
担当部局 福祉保健部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	

6	家族の団らんの輪を広げ、ふ	れあい	促進や子育てに関わる負担軽	減、様々な知恵や知識の伝承フ	など、多くの利点が考えられる多	世代同居、近居の促進	
	主要施策		子育て世代の人口定住対策の一類	景として、多世代同居や近居の促え	単策について検討する		25年度末達成状況 【実現·達成】
	多世代同居や近居の促進策の検 討	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 子育て世代の定住を促進するため、子どもの健全育成に資する多世代同居や近居の促進策の可能性について検討を行う。	工程計画	・多世代同居や近居の促進策の 検討 ・他市の事例等についての情報 収集	・多世代同居や近居の促進策の 検討・先進地視察、本市における事業 の実施方向性を検討			
		予算	0 千円	30 千円	千円	千円	千円
	市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	協議・検討中 ○市民アンケートにて多世代同居の現状や市民意向等を調査 ○電話やインターネット等により他市の事例等についての現状や取組状況の調査を実施	実現・達成 〇先進地視察により、他市多世代同居の現状や施策効果等を調査 〇本市の現状や風土、市民意向等々を総合的に勘案し、現時点において、特段の促進策は実施しないこととした。			
	担当部局	ਚ					
	政策企画部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 0 千円	計画どおり実施 100 % 11 千円	% 千円	% 千円	% 千円
7	′_コミュニティ・スクール指定校の	D拡大					
	主要施策		平成26年度までに、市内すべての	小中学校をコミュニティ・スクールし	こ指定する		26年度末達成状況 【実現・達成】
	コミュニティ・スクール指定校の拡 大	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 準備校への計画的な支援(各校の会議に出席し、コミュニティ・スクールについての説明を行う等)を図る。	工程計画	・島田中を本市2校目のコミュニティ・スケール に指定 ・室積・三井・大和中学校及び11小学 校の準備校としての取組みを支援 ・啓発のためのパンフレットを作成	・市内全中学校5校をコミュニティ・スクールに指定 ・小学校については、準備校とし ての取組みの支援を継続	・市内全小学校をコミュニティ・スクールに指定し、小中学校16校で実施		
		予算	120 千円	0 千円	0 千円	千円	千円
	市民との協働の実践状況	美 績 · 成		実施中 ○室積中・光井中・大和中をコミュニティ・スクールに指定し、市内全5中学校の指定完了 ○研究協議会の実施・全小中学校参加:16校・実施回数:2回 ■コミュニティ・スクール指定率:31.25%	実現・達成 ○市内全小学校をコミュニティ・スクールに指定完了 ○研究協議会の実施 ・全小中学校参加:16校 ・実施回数:2回 ■コミュニティ・スクール指定率:100%		
	教育委員会	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	% ~ T	%
	WIIZAA	決算	119 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

_ 8 子どもたちの校	を外活動や地域	ず活動、社会参加機会の充実							
主要抗	施策	目標	中学生リーダー・ジュニアリーダー		50人とする		27年度末達成状況		
キャリア教育の推定応力の育成	進と社会への適	年度	H24	H25	H26	H27	H28		
施策の 青少年の奉仕活動・ 進を図るため、少年り 学生リーダー養成講	体験活動等の促 少女セミナー、中 座・光ジュニアクラ	工程計画	・関係各校への募集要請・養成講座・支援活動の充実	・関係各校への募集要請 ・養成講座・支援活動の充実	・関係各校への募集要請 ・養成講座・支援活動の充実	・関係各校への募集要請 ・養成講座・支援活動の充実	・関係各校への募集要請・養成講座・支援活動の充実		
ブなどの講座を開講	する。	予算	480 千円	480 千円	485 千円	688 千円	605 千円		
市民との協働担当部		実績・成	実現・達成 ○関係各校への募集要請を実施 ○中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの講座の実施 ・実施回数:13回 ・延べ参加者数:761人 ・会員数:252人 ○少年少女セミナーの実施 ・実施回数:5回 ・延べ参加者数:85人	実施中 ○関係各校への募集要請を実施 ○中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの講座の実施 ・実施回数:11回 ・延べ参加者数:642人 ・会員数:239人 ○少年少女セミナーの実施 ・実施回数:5回 ・延べ参加者数:53人	実施中 ○関係各校への募集要請を実施 ○中学生リーダー養成講座・光ジュニアクラブの講座の実施 ・実施回数:13回 ・延べ参加者数:651人 ・会員数:211人 ○少年少女セミナーの実施 ・実施回数:5回 ・延べ参加者数:88人				
教育委	員会	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	% T.D.	% 		
安全で安心でき		決算	211 千円	328 千円	347 千円	千円	千円		

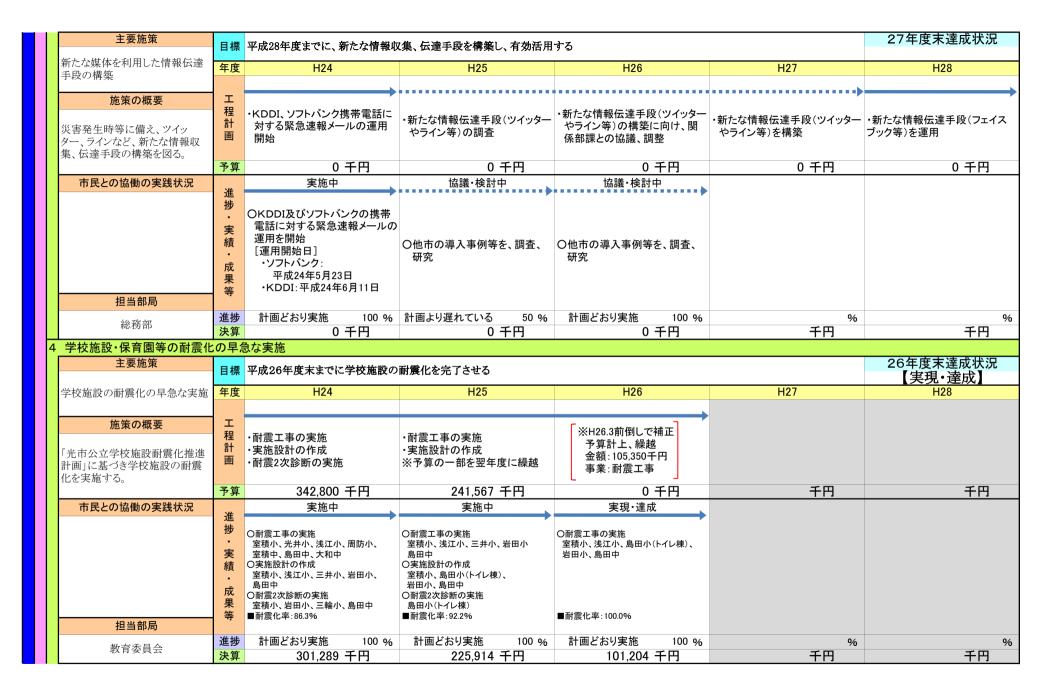
女宝で女心でさるまりの創造

-	-	D+ <<< /	\ _	十二 +立 しごエ	m - m	\ ** ==
	-	ハカルバリ) -	支援と消	ᇄᆔᆌᄼ) TT ===

主要施策	目標	平成28年度までに、自主防災組織	 ¢率を80%以上に向上させる			27年度末達成状況
自主防災組織の設立推進、活動 活性化に対する支援の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 地域防災力の向上を目指し、自主防災 組織の設立支援と育成強化を図るた め、自主防災組織育成補助制度の有 効活用を推進するとともに、地域防災	程計画	・光市自主防災組織育成補助制度の創設と有効活用	・光市自主防災組織育成補助制 度の有効活用	・光市自主防災組織育成補助制度の有効活用・新たな支援制度について調査、研究	・光市自主防災組織支援補助金の有効活用	・光市自主防災組織支援補助金の有効活用
リーダーの育成を図る。	予算	4,500 千円	4,500 千円	4,500 千円	2,000 千円	2,000 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	実施中 ○自主防災組織育成補助制度を創設 ・設立推進事業:20件、400千円 ・活動支援事業:5件、193千円 ・資機材整備事業:20件、 735千円 ■自主防災組織率:72.8%	実施中 ○自主防災組織育成補助制度を実施 ・設立推進事業:13件、260千円 ・活動支援事業:7件、384千円 ・資機材整備事業:14件、530千円 ■自主防災組織率:78.2%	実施中 ○自主防災組織育成補助制度を実施 ・設立推進事業:28件、560千円・活動支援事業:12件、565千円・資機材整備事業:22件、833千円 ■自主防災組織率:94.5%		
総務部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画より進んでいる 100 %	%	%
440-272 HA	決算	1,328 千円	1,174 千円	1,958 千円	千円	千円

主要施策	目標	消防団員の減少を未然に防ぐとと	。 らに、消防団の防災力の向上を図	<u></u>		27年度末達成状況
消防団員の確保	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 消防団員の定員に対する充足率 を維持し、大規模災害に対する安	工程計画	・消防団員確保に向け、消防団情報を広く発信するため消防団専用ホームページ及びSNSを開設	・消防団員の充足率を98%以上に 維持 ・消防団員確保が難しい地域に 対する対策を検討	・消防団員の確保を図る ・大規模災害へ迅速に対応できる 防災力の向上を図るため、人材 育成計画を作成し、これに基づ	・充足率を98%以上を維持し、 かつ、組織の質の向上のため、 人材育成計画に基づく教育を 実施	〇消防団員の充足率を98%以上に維持する。 〇消防団員が地域防災の指導的な役割を担 い、自主防災組織等との訓練を実施すること で連携を図り、地域の防災力を向上させる。
定した消防体制を確保する。	予算	0 千円	0 千円	く新たな教育研修を実施 0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	0 111	0 111
担当部局	進捗・実績・成果等	〇消防団専用ホームページ及び SNSによる消防団の情報発信を 開始し、これらのメディアを通じ ての消防団入団者も現れた	〇平成25年4月1日現在にて、条例 定数の530人、充足率100%を達成 した。 今後も消防団専用ホームページ 及びSNSによる消防団の情報発 信を継続し、団員の確保に努める とともに、組織の質の向上のた め、 団員の人材育成に努める。	〇平成26年4月1日現在で、条例定数530人、充足率100%。 〇消防団の震災対応マニュアルを作成し、マニュアルに基づき大規模地震発生を想定して、全分団を対象に参集訓練を実施。 〇人材育成計画については、団員の知識・技術の向上を図るため、効果的な教育や訓練等の実施方法について作成中。		
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画より進んでいる 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
消防組合消防本部	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円
2 災害時要援護者の避難支援体	‡制の	構築				
主要施策	目標	平成25年度までに、各地区ごとの 出し指定する	冨祉避難所を指定するとともに、平	成28年度までに、福祉避難所とし	て利用可能な施設等を新たに抽	27年度末達成状況
災害時要援護者に対する避難体制の構築	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 災害発生時において、要援護者が安心して避難所生活を送ることが出来る 体制を確保するため、物資、器材、人 材が整っている社会福祉施設等を福祉	工程計画	・福祉避難所として利用可能な施設等を抽出	・福祉避難所の指定	・新たな福祉避難所として利用可能な施設等の抽出を行い指定	・新たな福祉避難所として利用可能な施設等の抽出を行い指定	・新たな福祉避難所として利用可能な施設等の抽出を行い指定
避難所に指定する。	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	実	○僧 企業所 「	実施中 ○民間福祉施設等と福祉避難所 の協定を締結 ・8事業所13施設と締結 【前年度計画分】 ○福祉避難所として利用可能な 施設等を決定	実施中 ○民間福祉施設と福祉避難所の協定を追加で締結 ・1施設と締結		
総務部		計画より遅れている 25 %	計画どおり実施 175 %	計画どおり実施 100 %	%	%
かい4カ ロト	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

主要施策		災害時要援護者の登録率の向上	に併せ避難支援者登録率の向上を	を図る。		27年度末達成状況
災害時要援護者避難支援者登録	年度	H24	H25	H26	H27	H28
率の向上	1 /2	<u>.</u> .	.,		·····	
施策の概要 要接護者の避難体制の構築に向け避難支援者の登録を進める。	工 程 計 画	・災害時要援護者の把握調査を 実施するとともに避難支援者登 録率を66.1%とする	・災害時要援護者の把握調査を 実施するとともに避難支援者登 録率を68.4%とする	・災害時要援護者の把握調査を 実施するとともに避難支援者登 録率を74.9%とする	・災害時要援護者の把握調査を 実施するとともに避難支援者登 録率を81.5%とする	・災害時要援護者の把握調査を 実施するとともに避難支援者登 録率を88.0%とする
TO THE PARTY OF TH	又答	0.020 ТП	1 200 ТП	1 000 T III	2146 ТП	1 702 🎞 🖽
	予算	8,832 千円	1,289 千円	1,289 千円	2,146 千円	1,703 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
担当部局	実績・成	○災害時要援護者把握調査の実施 ・登録率: 20.9% ○地域支援団体への名簿提供: 4団体、192人分 ■避難支援者登録率:61.8% ■地域支援団体への名簿提供 (累計): 9団体、442人分	○災害時要援護者把握調査の実施 ・登録率:23.0% ○地域支援団体への名簿提供: 3団体、196人分 ■移動支援者登録率:54.8% ■地域支援団体への名簿提供 (累計):12団体、638人分	○災害時要援護者把握調査の実施・登録率:23.4% ○地域支援団体への名簿提供: 2団体、138人分 ■移動支援者登録率:40.2% ■地域支援団体への名簿提供 (累計):14団体、776人分		
1프크마/리	2# 址	計画より遅れている 75 %	計画より遅れている 75 %	計画より遅れている 50 %	%	%
福祉保健部	決算	6,748 千円	1,275 千円	1,282 千円		1
						_ _ +
			1,275 丁口	1,202 丁口	TH	千円
3 防災行政無線の整備等による 主要施策	情報の	の伝達体制の構築		1,202 〒円 購し、平成27年度以降、戸別受信様		27年度末達成状況
	情報の	の伝達体制の構築				
主要施策	情報(目標	<mark>D伝達体制の構築</mark> 平成26年度までに、市内一円に同	報系デジタル防災行政無線を整	備し、平成27年度以降、戸別受信を	幾の整備方針を検討する	27年度末達成状況
主要施策	情報(目標	<mark>D伝達体制の構築</mark> 平成26年度までに、市内一円に同	報系デジタル防災行政無線を整	備し、平成27年度以降、戸別受信材 H26	幾の整備方針を検討する	27年度末達成状況 H28
主要施策 同報系防災行政無線の整備 施策の概要 市民に対し、迅速で確実な防災 情報等を伝達する手段として、市	情報 年 工程計	D伝達体制の構築 平成26年度までに、市内一円に同 H24 ・同報系デジタル防災行政無線	報系デジタル防災行政無線を整 H25	備し、平成27年度以降、戸別受信材 H26	幾の整備方針を検討する H27	27年度末達成状況 H28
主要施策	情報 日標 年度 工程計画 予	D伝達体制の構築 平成26年度までに、市内一円に同 H24 ・同報系デジタル防災行政無線 の整備に向け、実施設計を実施	引報系デジタル防災行政無線を整 H25 ・防災行政無線整備工事の実施	備し、平成27年度以降、戸別受信材 H26 ・防災行政無線整備工事の実施	機の整備方針を検討する H27 ・戸別受信機の整備方針を検討	27年度末達成状況 H28 ・戸別受信機の整備方針を検討
主要施策 同報系防災行政無線の整備 施策の概要 市民に対し、迅速で確実な防災情報等を伝達する手段として、市内一円に防災行政無線(同報系)を整備する。	情 居 年 工程計画 予 進捗・実績・	D伝達体制の構築 平成26年度までに、市内一円に同 H24 ・同報系デジタル防災行政無線 の整備に向け、実施設計を実施 10,000 千円 実施中	開報系デジタル防災行政無線を整 H25 ・防災行政無線整備工事の実施 227,000 千円	備し、平成27年度以降、戸別受信を H26 ・防災行政無線整備工事の実施 179,296 千円	機の整備方針を検討する H27 ・戸別受信機の整備方針を検討	27年度末達成状況 H28 ・戸別受信機の整備方針を検討
主要施策 同報系防災行政無線の整備 施策の概要 市民に対し、迅速で確実な防災情報等を伝達する手段として、市内一円に防災行政無線(同報系)を整備する。 市民との協働の実践状況	情 目 年 工程計画 予 進捗・実績・成果	D伝達体制の構築 平成26年度までに、市内一円に同 H24 ・同報系デジタル防災行政無線 の整備に向け、実施設計を実施 10,000 千円 実施中 ○同報系デジタル防災行政無線 の整備に向け、基本・実施設計 書を作成 ■地震・台風などの災害対策の	日報系デジタル防災行政無線を整 H25 ・防災行政無線整備工事の実施 227,000 千円 実施中 ○同報系デジタル防災行政無線 の整備を実施 親局、中継局及び室積地区、光 井地区の屋外拡声子局21ヶ所	備し、平成27年度以降、戸別受信を H26 ・防災行政無線整備工事の実施 179,296 千円 実施中 ○同報系デジタル防災行政無線 の整備を実施 整備が完了したところから運用 を開始し、12月1日から市内全 域での一部運用を実施した。	機の整備方針を検討する H27 ・戸別受信機の整備方針を検討	27年度末達成状況 H28 ・戸別受信機の整備方針を検討



主要施策	目標			て平成28年度までに耐震化を完了	する	27年度末達成状況
公立幼稚園・保育園の耐震化の 早急な実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 耐震対策が必要な保育所3園の 耐震化を図る。	工程計画	・「光市公立保育所施設耐震化推 進計画」の策定	・耐震化に向けた実施設計の策 定 (浅江東保育園)	・耐震改修工事の実施 (浅江東保育園)	・耐震改修工事の実施 (浅江東保育園)・耐震化に向けた実施設計の策 定(大和保育園)	・耐震改修工事の実施 (大和保育園)
111177 10 5 121-20	予算	11.745 千円	8.844 千円	53,554 千円	89.444 千円	49,000 千円
市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	00,444 []]	40,000 111
担当部局	・実績・成果	○「光市公立保育所施設耐震化推進計画」を策定(平成25年3月) ○構造耐震指標(Is値)が著しく低い浅江東保育園2階建棟について、早急に児童の安全を確保するため、仮設園舎(借上げ方式)を設置し、3月から保育室を移行 ■耐震化率:33.3%	○「光市公立保育所施設耐震化 推進計画」に基づき、浅江東保 育園の耐震化実施設計を実施 ■耐震化率:33.3%	○「光市公立保育所施設耐震化推進計画」に基づき、浅江東保育園の耐震補強工事を実施 ■耐震化率:33.3%		
福祉保健部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	決算	11,745 千円	4,470 千円	52,371 千円	千円	千円
5 防災研修、防災訓練の実施						
主要施策	目標	毎年度、総合防災訓練を実施する)			27年度末達成状況
総合防災訓練の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 防災関係機関相互の協力、連携 体制の確立と、地域住民の防災	工程計画	・光市総合防災訓練の実施	・山口県総合防災訓練の実施 (光市総合防災訓練を兼ねる)	・光市総合防災訓練の実施	・光市総合防災訓練の実施	・光市総合防災訓練の実施
意識の高揚を図ることを目的に、 総会院災訓練を実施する						
総合防災訓練を実施する。	予算	410 千円	680 千円	723 千円	726 千円	714 千円
		410 千円 実施中	680 千円 実施中	723 千円 実施中	726 千円	714 千円
総合防災訓練を実施する。 市民との協働の実践状況	進地				726 千円	714 千円
総合防災訓練を実施する。	進捗・実績・成果	実施中 〇光市総合防災訓練を実施 [実施日]平成24年8月4日 [実施場所] 三井小学校グラウンド [参加者数] ・地域住民:約220人	実施中 〇山口県総合防災訓練 (光市会場) ※荒天中止 [実施予定日] 平成25年8月25日 [実施予定場所]	実施中 〇光市総合防災訓練を実施 [実施日]平成26年8月31日 [実施場所] 大蔵池公園 [参加者数] ・地域住民:約230人	726 千円	714 千円

主要施策	目標	毎年度、職員を対象とした防災訓練	陳等を実施する			27年度末達成状況
職員対象防災訓練の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 市の災害対応力の向上を図ること を目的に、職員を対象とした防災 訓練を実施する。	工程計画	訓練を美施	・職員初動対応訓練の実施	- 職員初動対応訓練の実施	・職員初動対応訓練の実施	・職員初動対応訓練の実施
	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	実施中 〇災害対策本部設置·運営図上 訓練を実施 [実施日]平成24年11月8日 [参加者数] ・市職員:40名 ・消防職員:8名	実施中 ○初動対応訓練 [実施日]平成25年5月21日 平成26年1月17日 [訓練項目] 情報伝達訓練、非常参集 訓練、災害対策本部設置 訓練等	実施中 ○初動対応訓練 [実施日]平成26年5月22日 [訓練項目] 情報伝達訓練、非常参集 訓練、災害対策本部設置 訓練等		
担当部局	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
総務部	決算	28 千円	0 千円	0 千円	千円	千円
6 「地域防災計画」の見直しや、 主要施策	目標	毎年度、光市防災会議を開催し、:	地域防災計画の見直しを行う			27年度末達成状況
地域防災計画の見直し	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 災害発生時に効果的な対応が行 えるよう、光市地域防災計画の定 期的な見直しを行う。	工程計画	・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し	・地域防災計画の見直し
	予算	46 千円	46 千円	77 千円	77 千円	77 千円
市民との協働の実践状況 担当部局	進捗・実績・成果等	実施中 〇光市防災会議において地域防 災計画の見直しを実施 [開催日]平成24年4月19日 [主な見直し内容] ・東日本大震災を踏まえ大規 模災害被害想定の追加 ・土砂災害警戒区域の追加	実施中 〇光市防災会議において地域防災計画の見直しを実施 [開催日]平成25年7月25日 [主な見直し内容] ・津波災害に対する普及啓発、避難に関する修正・津波災害応急対策計画の追加	実施中 〇光市防災会議において地域防災計画の見直しを実施 [開催日]平成26年7月23日 [主な見直し内容] ・東南海・南海地震防災対策推進計画を南海トラフ地震防災対策推進計画に修正・指定緊急避難場所の指定		
総務部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	9/
4-0-1/2 HA	決算	21 千円	16 千円	46 千円	千円	千円

主要施策	目標	平成28年度までに、避難所運営っ				27年度末達成状況
防災マニュアルの充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 災害発生時に効果的な対応が行 えるよう、各種防災マニュアルの 整備を行う。	工程計画	・避難所運営マニュアル策定に向け検討	・避難所運営マニュアル策定に向け検討	・避難所運営マニュアル策定に向け検討	・避難所運営マニュアル策定に向け検討	・避難所運営マニュアル策定
	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果	協議・検討中 〇他市の策定状況等を調査、研究	協議・検討中 〇他市の策定状況等を調査、研究	協議・検討中 〇他市の策定状況等を調査、研究		
担当部局	等 ****			51 TO 18 by 1 to 1 to 2 to 2 to 2 to 2 to 2 to 2 to		
総務部	決算	計画より遅れている 25 % 0 千円	計画より遅れている 75 % 0 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円		
				0 1 1 3	113	113
7 各種ハザードマップの活用と	津波ハ		~ 111	V 111	113	113
7 各種ハザードマップの活用と注 主要施策				0 111	111	27年度末達成状況
		ザードマップの作成の検討		H26	H27	
主要施策	目標 年度 工程計画	ザードマップの作成の検討 各種ハザードマップを活用し、防ジ H24 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催	(知識の普及・啓発を推進する H25・ハザードマップを活用した出前 講座の開催	H26 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催	H27 - ハザードマップを活用した出前 講座の開催	27年度末達成状況 H28 ・ハザードマップを活用した出前講座の開催
主要施策 各種ハザードマップの活用 施策の概要 災害が発生した場合、市民が迅速・的確な避難行動を行うことが出来るよう、各種ハザードマップを活用した出前講座を開催し、防災知識の啓発を図る。	目標 年度 工程計	ザードマップの作成の検討 各種ハザードマップを活用し、防り H24 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催 0 千円	(知識の普及・啓発を推進する H25・ハザードマップを活用した出前 講座の開催0 千円	H26 - ハザードマップを活用した出前 講座の開催 0 千円	H27 ・ハザードマップを活用した出前	27年度末達成状況 H28 ・ハザードマップを活用した出前
主要施策 各種ハザードマップの活用 施策の概要 災害が発生した場合、市民が迅速・的確な避難行動を行うことが出来るよう、各種ハザードマップを活用した出前講座を開催し、防災知識の啓発を図る。 市民との協働の実践状況	目標 年度 工程計画	ザードマップの作成の検討 各種ハザードマップを活用し、防ジ H24 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催	(知識の普及・啓発を推進する H25・ハザードマップを活用した出前 講座の開催	H26 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催	H27 - ハザードマップを活用した出前 講座の開催	27年度末達成状況 H28 ・ハザードマップを活用した出前講座の開催
主要施策 各種ハザードマップの活用 施策の概要 災害が発生した場合、市民が迅速・的確な避難行動を行うことが出来るよう、各種ハザードマップを活用した出前講座を開催し、防災知識の啓発を図る。	目 年 工程計画 予 進捗・実績・成果	ザードマップの作成の検討 各種ハザードマップを活用し、防災 H24 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催 0 千円 実施中 〇出前講座の実施 実施回数:17回	 (知識の普及・啓発を推進する H25 ・ハザードマップを活用した出前 講座の開催 0 千円 実施中 〇出前講座の実施・実施回数:13回 	H26 - ハザードマップを活用した出前 講座の開催 0 千円 実施中 ○出前講座の実施 ・実施回数:18回	H27 - ハザードマップを活用した出前 講座の開催	27年度末達成状況 H28 ・ハザードマップを活用した出前講座の開催

	主要施策		平成25年度に、津波ハザードマッ				26年度末達成状況 【実現・達成】
	津波ハザードマップの作成	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 巨大地震による津波発生を想定し、市 民が迅速・的確な避難行動を行うことが 出来るよう、避難道路、避難場所を掲	工程計画	・津波ハザードマップ作成に向け 検討	・津波ハザードマップを作成	・津波ハザードマップを作成		
	載した津波ハザードマップを作成する。	予算	0 千円	10,000 千円	10,042 千円	千円	千円
	市民との協働の実践状況	進捗・実	未実施	協議・検討中 〇山口県の津波浸水想定図の公表時期が遅れ、12月24日に公	実現・達成 【前年度計画分】 〇津波ハザードマップを2万部作成し、27年3月25日号広報と共に対象地区に配布。		
	担当部局	績 ・成果等	を公表する予定であったが、公表時期が延長されたため未実施	表時期が遅れ、12月24日に公 表されたため未実施 〇山口県の津波浸水想定図を 調査・研究	○作成時のワークショップ 地域づくり利支援センター 2月12日実施 24人参加 室積公民館 2月17日実施 17人参加		
	総務部	進捗 決算	未着手 0 % 0 千円	計画より遅れている 25 % O 千円	計画どおり実施 175 % 8,669 千円	% 千円	% 千円
8	災害危険個所の点検、整備						
	主要施策	目標	毎年度、防災パトロールを実施する	3			27年度末達成状況
	防災パトロールの実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 災害発生時の被害を最小限に抑える ための対策の検討等を行うため、防災 関係機関合同による災害危険箇所の 現地調査等を実施する。	工程計画	・防災パトロールを実施	・防災パトロールを実施	- 防災パトロールを実施	・防災パトロールを実施	・防災パトロールを実施
		予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	実施中 〇光市防災パトロールを実施 [実施日]平成24年5月31日 [実施場所] ・虹ケ浜(海岸保全施設) ・浅江小学校(耐震改修) ・宮ノ尾1号ため池(危険ため 池)	実施中 〇光市防災パトロールを実施 [実施日]平成25年6月3日 [実施場所] ・十王川(砂防堰堤) ・柏木ため池(危険ため池)	実施中 〇光市防災パトロールを実施 [実施日]平成26年6月2日 [実施場所] ・横尾地区(土石流危険箇所) ・三島橋付近(河川改修)		
	222.00	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	総務部	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

主要施策	目標	庁舎の耐震化を検討し、整備活用	月方針を検討する			27年度末達成状況
市役所本庁舎の防災機能の確 保・強化	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 行政サービスや災害時の防災拠 点となる市役所本庁舎の機能の 確保・強化を図る。	工程計画	・耐震1次診断を実施	・耐震2次診断を実施	・庁舎整備の方向性を検討	・庁舎整備の方向性を検討	・庁舎整備の方向性を検討
年 八五日で四つ。	予算	1,400 千円	7,043 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況		実施中	実施中	未実施		
担当部局	進捗・実績・成果等	〇耐震1次診断を実施	〇耐震2次診断を実施			
総務部	進捗 決算	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	未着手 0 % 0 千円		9 T III
主要施策		1,292 千円	6,563 千円	∪ ⊤ ⊓		千円 27年度末達成状況
2 1.2.1.	日標	平成28年度までに、広域避難場)	外を指定する 			
災害時の避難場所の確保	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 広域避難場所の指定及び民間施設等を活用した新たな避難施設 の確保、整備を行う。	工 程 計 画	・広域避難場所の指定に向け検討・民間施設等を活用した避難施設確保に向け検討	・広域避難場所の指定に向け検討・民間施設等を活用した避難施設確保に向け検討	・広域避難場所の指定に向け検討・民間施設等を活用した避難施設確保に向け検討	・広域避難場所の指定に向け検 討 ・民間施設等を活用した避難施設 確保に向け検討	・広域避難場所を指定・民間施設等を活用した避難施確保に向け検討
· ·	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績・	協議・検討中 ○他市の策定状況等を調査、研究	協議・検討中 ○他市の策定状況等を調査、研究	協議・検討中 ○他市の策定状況等を調査、研究 ○緊急避難場所94箇所を平成26		
担当部局	成 果 等			年度で指定。		
総務部	進捗	計画より遅れている 25 %	計画より遅れている 50 %	計画どおり実施 100 %	%	

★「地域の宝」と「知恵」 ~地域の宝と知恵で創ります 「豊かで輝く未来のまち」~

V 人と自然にやさしいエコ生活の創造

1 太陽光発雷や省エネ設備の設置補助

1_	太陽光発電や省エネ設備の認	2置補	助				
	主要施策	目標	住宅用太陽光発電システムの市場	成全体への拡大を目指す			27年度末達成状況
1	陽光や太陽熱などの自然エネ	年度	H24	H25	H26	H27	H28
ار	ギーの利用促進						
に発	施策の概要 球環境への負荷低減等を目的、自らが居住する住宅に太陽光 電システムを設置しようとする市	工 程 計 画	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進・事業の見直し	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進
A	に補助金を交付する。	予算	10,200 千円	10,200 千円	10,000 千円	5,050 千円	10,000千円(省工本製品補助含む)
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	, , , , ,	, 212
		進捗・実績・成果等	○エコライフ補助金の交付により、住宅用太陽光発電システムの設置促進及び経済的負担の軽減 ○住宅用太陽光発電システム設置助成:104件	〇エコライフ補助金の交付により、住宅用太陽光発電システムの設置促進及び経済的負担の軽減 〇住宅用太陽光発電システム設置助成:104件	〇住宅用太陽光発電システムの 設置助成を継続する一方、国や 市場価格の動向等を踏まえて、 補助額及び上限出力を見直し 〇住宅用太陽光発電システム設 置助成:74件		
	担当部局	ਚ					
	環境部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
		決算	9,826 千円	9,957 千円	4,816 千円	千円	千円
	主要施策	目標	省エネ製品の普及を促進し、市域	から排出される温室効果ガス排出	量の削減を図る		27年度末達成状況
14	エネ製品の導入促進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
T E	二个表面の等人促進	712	1121	1120	1120	1127	1120
に集	施策の概要 球環境への負荷低減等を目的、自らが居住する住宅に省エネ品を選しようとする市民に補	工程計画	・光市省エネ生活普及促進事業 補助金交付要綱の施行・光市省エネ生活普及促進事業 の推進	・実勢価格等に応じた要綱の一 部改正 ・光市省エネ生活普及促進事業 の推進	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進 ・対象設備・要件等の見直し	・光市省エネ生活普及促進事業の推進	・光市省エネ生活普及促進事業 の推進
IJ.	金を交付する。	予算	9,800 千円	9,800 千円	10,000 千円	4,950 千円	10,000千円(太陽光発電補助含む)
	市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	実施中 ○補助金交付要綱を改正し、助成対象に省エネ製品を追加 ○省エネ設備設置助成:148件 ■省エネルギーに心がけている 人の割合:86.3%	実施中 ○省エネ設備の設置助成を継続する一方、市場の価格動向等を踏まえて助成上限額を一部見直し ○省エネ設備設置助成:280件 ■省エネルギーに心がけている人の割合:88.0%	実施中 ○省エネ設備の設置助成を継続する一方、補助対象条件を一部見直し ○省エネ設備設置助成:258件 ■省エネルギーに心がけている人の割合:86.9%		
	r四.1本分7	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	環境部	決算	9,801 千円	9,722 千円	10,008 千円	千円	千円

主要施策	目標	財政状況や国の動向を見極めなな	がら、公共施設における太陽光発電	電システム等の設置を推進する		27年度末達成状況
公共施設への太陽光発電システ ムの導入促進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 本市の地域特性を生かした自然 ネルギーの利用を図るため、公 施設への太陽光発電システム	工程計画		・給食センター、里の厨、三島温泉健康交流施設、室積コミュニティセンター、市役所本庁舎への太陽光発電システム設置検討及び整備	・給食センターへの太陽光発電システム整備 ・里の厨、三島温泉健康交流施設、室積コ ミュニティセンター、市役所本庁舎への太陽 光発電システム設置検討及び整備	・室積コミュニティセンター及び里の厨への太陽光発電システム整備 ・三島温泉健康交流施設、市役所本庁舎への太陽光発電システム設置検討及び整備	・地域づくり支援センターへの太陽光発電システム整備 ・三島温泉健康交流施設へのス 陽光発電システム設置検討
導入を促進する。	予算	千円	0 千円	30,290 千円	35,700 千円	29,100 千円
市民との協働の実践状況	進捗		未実施	実施中		
	・実績・成果は		設置に係る有利な財政支援等に ついて調査・研究を行った。	〇給食センターへの太陽光発電システム設置 〇室積コミュニティセンター、里の 厨への設置検討		
担当部局	等					
環境部	進捗 決算		+ 未着手 0 % ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	計画より遅れている 75 % 28,226 千円		千円
主要施策		エコオフィスプランに沿った省エネ		•		27年度末達成状況
公共施設への省エネ機器の導入 E進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 ニネルギー使用による温室効果ガン が出を削減するため、省エネ機器 シ導入を進めるとともに環境に配慮		・エコオフィスプラン(第2期:H23 ~H27)の推進・職員エコプラス事業の実施	・エコオフィスプラン(第2期:H23 ~H27)の推進・職員エコプラス事業の実施	・エコオフィスプラン(第2期:H23 ~H27)の推進・職員エコプラス事業の実施	・エコオフィスプラン(第2期:H23~H27) の推進 ・エコオフィスプラン(第3期:H28~)の策定 ・職員エコプラス事業の実施、あり方検討	・エコオフィスプラン (第3期:H2 ~H32)の推進
た使用に努める。	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	`#	実施中	実施中	実施中		
担当部局	進捗・実績・成果等	○職員エコプラス事業を本格実施、毎月20日を庁内エコ活動のための一斉行動日として定着 ■事務・事業に伴う温室効果ガスの削減量(対21年度比):3.12%	○職員エコプラス事業を実施、第 1期(H24.4~H24.6)の事業成 果により、電気自動車を庁用車 両として導入(総務課で予算計 上) ■事務・事業に伴う温室効果ガス の削減量(対21年度比):3.39%	○職員エコプラス事業を実施、第 2期(H24.7~H25.6)の事業成 果により、環境にやさしい公用 車を導入(福祉保健部で予算計 上) ■事務・事業に伴う温室効果ガス の削減量(対21年度比):6.64%		
3	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	
環境部	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

	の推進					
主要施策	目標	幼保園児、小学生や一般住民等、	世代に応じた学習活動を実施する	ることにより、ごみ問題等についての	意識の高揚を図る	27年度末達成状況
環境学習の実施による啓発活動 の促進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 各種環境学習の実施による環境 意識の醸成を図るとともに、ごみ の発生抑制に向けた普及啓発活	工 程 計 画	・ごみ分別出前講座の開催 ・ごみを出さない料理教室の開催 ・「ごみの行方」見学ツアーの開 催	・ごみ分別出前講座の開催 ・ごみを出さない料理教室の開催 ・「ごみの行方」見学ツアーの開催 ・小学生指導用下敷き作成	・ごみ分別出前講座の開催 ・ごみを出さない料理教室の開催 ・「ごみの行方」見学ツアー ・小学生指導用下敷き作成	・ごみ分別出前講座の開催 ・「ごみの行方&エネルギーの始まり」 見学ツアー ・小学生指導用下敷き作成	・ごみ分別出前講座の開催 ・「ごみの行方&エネルギーの始まり」 見学ツアー ・小学生指導用下敷き作成
動に取り組む。	予算	160 千円	337 千円	343 千円	303 千円	318 千円
市民との協働の実践状況	.,,	実施中	実施中	実施中		
担当部局	進捗・実績・成果等	○幼保園児及び小学生に向けた環境 学習の実施:8園、9小学校 ○「ごみの行方」見学ツアーの実施: 13件 ○ごみを出さない料理教室の実施: 4箇所 ■ごみ分別の適正率:75.1% ■ごみの分別を行っている人の割合: 94.0%	○幼保園児及び小学生に向けた環境 学習の実施:11園、12小学校 ○「ごみの行方」見学ツアーの実施:12件 ○ごみを出さない料理教室の実施:3箇所 ■ごみ分別の適正率:73.9% ■ごみの分別を行っている人の割合:96.5%	○幼保園児及び小・中学生に向けた環境学習の実施 :8園、10小学校、5中学校 ○「ごみの行方」見学ツアーの実施 :11件 ○ごみを出さない料理教室の実施 :0箇所 ■ごみ分別の適正率:76.1% ■ごみの分別を行っている人の割合:96.5%		
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
環境部	決算	112 千円	224 千円	219 千円	千円	千円
主要施策	目標	家庭からのごみ搬出時の分別をよ	り徹底し、加熱処理されていた古紀	紙類のリサイクルを増加させることな	・ どに ト ハ ij サイクル家の向 ト を図ろ	27年度末達成状況
ごみ分別意識を高揚させることに				MANUAL COLOR	こになりというとしている	
よるリサイクル率の向上	年度	H24	H25	H26	H27	H28
よるリサイクル率の向上 施策の概要 ごみへの異物の混入を防ぐととも に、古紙類のリサイクルを推進し、 更なるリサイクル率の向上を図る。	年度 工程計画	H24 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進	H25 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化		H27 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 ・ごみ分別アプリの導入	H28 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 ・ごみ分別アプリを活用したPR
施策の概要 ごみへの異物の混入を防ぐととも に、古紙類のリサイクルを推進し、	工程計	・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進 0 千円	・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 0 千円	H26 - 分別収集の徹底及び指導 - 古紙類リサイクルの推進強化 0 千円	H27 - 分別収集の徹底及び指導 - 古紙類リサイクルの推進強化	H28 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化
施策の概要 ごみへの異物の混入を防ぐととも に、古紙類のリサイクルを推進し、	工程計画	- 分別収集の徹底及び指導 - 古紙類リサイクルの推進	・分別収集の徹底及び指導・古紙類リサイクルの推進強化 0 千円 実施中	H26 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 0 千円 実施中	H27 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 ・ごみ分別アプリの導入	H28 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 ・ごみ分別アプリを活用したPR
施策の概要 ごみへの異物の混入を防ぐととも に、古紙類のリサイクルを推進し、 更なるリサイクル率の向上を図る。 市民との協働の実践状況	工程計画 茅 進捗・実徒	・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進 0 千円 実施中 ○ごみ減量等推進委員会議の実施 (6月及び2月):10地区 ○ごみ分別出前講座の実施:9団体	・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 0 千円 実施中 ○ごみ減量等推進委員会議の実施 (6月及び2月):10地区	H26 - 分別収集の徹底及び指導 - 古紙類リサイクルの推進強化 0 千円	H27 - 分別収集の徹底及び指導 - 古紙類リサイクルの推進強化 - ごみ分別アプリの導入 497 千円	H28 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 ・ごみ分別アプリを活用したPR
施策の概要 ごみへの異物の混入を防ぐととも に、古紙類のリサイクルを推進し、 更なるリサイクル率の向上を図る。	工程計画 第 進捗・実績・成果	・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進 0 千円 実施中 ○ごみ減量等推進委員会議の実施 (6月及び2月):10地区 ○ごみ分別出前講座の実施:9団体 ○イベントにおける啓発活動:エコフェスタ、ふるさとまつり	・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 0 千円 実施中 Oごみ減量等推進委員会議の実施 (6月及び2月):10地区 Oごみ分別出前講座の実施:16団体 Oイベントにおける啓発活動: ふるさとまつり	H26 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 0 千円 実施中 ○ごみ減量等推進委員会議の実施 (6月及び2月):10地区 ○ごみ分別出前講座の実施:8団体 ○イベントにおける啓発活動:エコフェスタ、ふるさとまつり	H27 - 分別収集の徹底及び指導 - 古紙類リサイクルの推進強化 - ごみ分別アプリの導入 497 千円	H28 ・分別収集の徹底及び指導 ・古紙類リサイクルの推進強化 ・ごみ分別アプリを活用したPR

4 エコショップ認定制度など事業	所等(のごみ減量化等の促進				
主要施策	目標	エコショップ認定店舗数の増加を	図り、事業所におけるごみ減量化を	:促進する		27年度末達成状況
事業所におけるごみ減量化等の促進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 エコショップで事業を実施すること により、ごみ減量化の意識高揚を 図る。	工 程 計 画	・レジ袋削減などごみ減量化活動の促進・廃電池の回収	・レジ袋削減などごみ減量化活動の促進・廃電池の回収	・レジ袋削減などごみ減量化活動の促進・廃電池の回収・認定店舗数の増加	レジ袋削減などごみ減量化活動の促進廃電池の回収認定店舗数の増加	・レジ袋削減などごみ減量化活動の促進・廃電池の回収
	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進 步 • 実	実施中 〇エコショップでの取り組み	実施中	実施中		
	天績・成果等	・レジ袋辞退 ・エコフェスタでのエコショップラ リーへの参加 ・廃電池回収ボックスの設置 ■エコショップ認定店数:9店舗	○エコショップでの取り組み・レジ袋辞退・廃電池回収ボックスの設置■エコショップ認定店数:9店舗	○エコショップでの取り組み・レジ袋辞退・廃電池回収ボックスの設置■エコショップ認定店数:9店舗		
担当部局						
環境部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 32 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·····································
5 リユースを支援する不用品交	換シス	テムの充実				
主要施策	目標	リユースシステムの充実により、粗	大ごみの搬出を抑制する			27年度末達成状況
不用品交換システムの充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 リユース支援システムの拡充により、循環型社会の形成に向けた取り組みを推進する。	工程計画	・リユースネットひかりの実施 ・フリマネットひかりの実施	・リュースネットひかりの改善 ・フリマネットひかりの実施 ・リュースキッズひかりの開始	・リユースネットひかりの改善 ・フリマネットひかりの実施 ・リユースキッズひかりの実施	・リュースネットひかりの改善 ・フリマネットひかりの実施 ・リュースキッズひかりの実施	・リュースネットひかりの改善 ・フリマネットひかりの実施 ・リュースキッズひかりの実施
7/11/2 / U)	予算	0 千円	294 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	捗・実績・成	○リユースネット提供希望 ・登録72件、成立47件 ○リユースネット譲受希望 ・登録30件、成立10件 ○フリマネット掲載件数:2件/月	○リユースネット提供希望 ・登録115件、成立85件 ○リユースキッズ提供希望 ・登録107件、成立90件 ○リユースネット譲受希望 ・登録48件、成立14件	〇リユースネット提供希望 ・登録112件、成立92件 〇リユースキッズ提供希望 ・登録112件、成立102件 〇リユースネット譲受希望 ・登録104件、成立40件		
担当部局	果 等	C - 7 - 1 21 Jujan 11 30 - 11 / 7 J	〇フリマネット掲載件数:3件/月	〇フリマネット掲載件数:3件/月		
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%

6	- 未利用のエネルギー資源の流	5用検	討				
	主要施策	目標	自然エネルギーの新たな活用に関	する先進的な制度・仕組みを検討	する		27年度末達成状況
	新たなエネルギー資源の活用方 策の研究	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 光市の地域特性にあった自然エネルギーの新たな活用に関する	工程計画		・方向性・スケジュール等の検討	・調査・研究 (光市地球温暖化対策地域協議 会との協働事業)	・調査・研究 (光市地球温暖化対策地域協議 会との協働事業)	・方向性に基づく施策の推進
	先進的な取組みを目指した調査・ 研究事業に取り組む。	予算	千円	25 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況	進捗·実績	,	協議・検討中 の方向性、スケジュール等を検討	実施中		
	担当部局	・ 成果 等	%	〇方向性、スプシュール等を検討 計画どおり実施 100 %	2回開催 100 %	%	96
<u> </u>	環境部 家庭ごみの約40%を占める生	決算	千円	16 千円	0 千円	千円	千円
	主要施策		生ごみの堆肥化を推進することに	より、可燃ごみの減量化を図る			27年度末達成状況
	生ごみリサイクルの推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 生ごみ処理機の購入助成や堆肥 と商品券との交換制度活用等に より、生ごみリサイクル制度を促進	工程計画	・コンポスト容器に対する助成・段ボールコンポスト出前講座の 開催	・コンポスト容器に対する助成・段ボールコンポスト出前講座の 開催	・コンポスト容器に対する助成 ・段ボールコンポスト出前講座の 開催	・コンポスト容器に対する助成・段ボールコンポスト出前講座の 開催	・コンポスト容器に対する助成 ・段ボールコンポスト出前講座の 開催
	する。	予算	1,200 千円	1,050 千円	1,050 千円	1,000 千円	910 千円
	市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	担当部局	歩・実績・	○生ごみ処理機購入補助 ・電動:13基 ・コンポスト:7基 ・段ボールコンポスト:114基 ○堆肥と商品券との交換:20枚 ○出前講座実施 ・件数:3件 ・参加者数:135人	○生ごみ処理機購入補助 ・電動:15基 ・コンポスト:3基 ・段ボールコンポスト:91基 ○堆肥と商品券との交換:20枚 ○出前講座実施 ・件数:1件 ・参加者数:26人	〇生ごみ処理機購入補助 ・電動:15基 ・コンポスト:6基 ・段ボールコンポスト:80基 〇堆肥と商品券との交換:6枚		
	環境部	進捗	計画より遅れている 75 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	% ************************************	% ************************************
	2.1.30 FF	決算	343 千円	362 千円	349 千円	千円	千円

ったいない文化の醸成		物を入場にするいもつたいなり「人	と大切にする「もったいない」文化のシンボルとして、「もったいないふろしき」の普及を促進する					
2/C ₹ '& ₹	年度	H24	H25	H26	H27	H28		
施策の概要 ふろしきをシンボルに、日本古来 公統である「もったいない文化」 継承し、市民の環境意識の高	計	・新デザインの「もったいないふろ しき(梅・松)」作成 ・「もったいないふろしき」の普及 促進	・「もったいないふろしき」の普及 促進	-「もったいないふろしき」の普及 促進	・「ふろしき」の利用促進	・「ふろしき」の利用促進		
号を図る。	予算	329 千円	14 千円	40 千円	0 千円	0 千円		
市民との協働の実践状況 担当部局	不 貝 ■	実施中 〇新デザインの「もったいないふ ろしき(梅・松)」作成 ○ふろしきの販売: 189枚	実施中 ○ふろしきの販売:33枚 ○外国人とのコミュニケーション ツールとしての活用:50枚 (25人×2枚)	実施中 ○ふろしきの販売:26枚 ○ふろしき巡回展を4箇所で実施				
環境部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%			
	決算	316 千円	2 千円	38 千円	千円	千円		
型と海を活かした第六次産業 11.カルッパの17.3%。		告 O消費拡大(里の厨の活用促進						

主要施策	目標	「里の厨」で第六次産業化を推進	し、地元生産者と消費者の結びつき	きの強化を図り、農産物の地産地消	 を目指す	27年度末達成状況
里の厨を中心とした地産地消の 推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
1比是						
施策の概要	工 程				・農協の系統流通に加え、農業拠点	・農協の系統流通に加え、農業拠点
第2次光市地産地消プランの策 定、農業拠点施設での直売ルー トの確立及び生産・販売を促進す	計画	・第2次光市地産地消プランの策 定	・農協の系統流通に加え、農業拠 点施設での直売ルートの確立 及び生産・販売の促進	・新給食センター、農協等との連携による学校給食におけるさらなる地産地消の推進	施設での直売ルートの確立・給食センターへの供給ルートの確立及び生産・販売の促進	施設での直売ルートの確立 ・給食センターへの供給ルートの確立立及び生産・販売の促進
る。	予算	180 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	٠,μ	実施中	実施中	実施中		
担当部局	進捗・実績・成果等	〇「第2次地産地消プラン」を策定 〇プラン推進会議:3回 〇市民アンケート:1回	〇農業拠点施設での直売ルート が確立された 〇光市農業振興拠点施設「里の 厨」での販売実績について前 年比約3%増の達成	○「里の厨」と農協、新給食センターが連携した新たな納入システムによる学校給食への納入を開始 ○里の厨での学校給食販売額(9月~3月)、昨年同期間より約3倍増加		
677 July Lett	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
経済部	決算	180 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

主要施策	日煙	「里の厨」での農業体験研修事業の	の参加者数を200 k にする			27年度末達成状況
里の厨で実施する体験研修事業						
の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 観光ニーズに対応した各種体験 教室(農業・加工・調理)などの充 実強化を図る。	工程計画	・農業体験教室・加工体験教室・ 調理体験教室などの充実強化	- 農業体験教室・加工体験教室・ 調理体験教室などの充実強化	-農業体験教室・加工体験教室・ 調理体験教室などの充実強化	・農業体験教室・加工体験教室・ 調理体験教室などの充実強化	・農業体験教室・加工体験教室 調理体験教室などの充実強化
	予算	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績・t	実施中 〇農業体験(4コース) ・参加者数:99人 〇加工品づくり(4コース) ・参加者数:451人 〇調理体験(2コース)	実施中 ○農業体験(4コース) ・参加者数:84人 ○加工品づくり(5コース) ・参加者数:241人 ○調理体験(1コース)	実施中 ○農業体験(6コース) ・参加者数:99人 ○加工品づくり(3コース) ・参加者数:337人 ○調理体験(1コース)		
担当部局	成果等進捗	・参加者数:33人 計583人 計画どおり実施 100 %	・参加者数: 42人 計367人 計画どおり実施 100 %	・参加者数:36人 計472人 計画どおり実施 100 %	%	
経済部	決算	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	千円	千円
学校給食での地域農産物の	利用促	進				
主要施策	目標	地域の産物への理解や感謝の気	持ちを育むなどの食育の推進を図	るため、学校給食における光市産1	全材の使用率を30%とする	27年度末達成状況
学校給食における地産地消の推 進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 学校給食を活用した食育の推進のため、計画的かつ安定的な食材供給が可能となる新たな地産地消システムの構築を図る。また、生産者の生産意欲	工程計画	・里の厨や農協等から光市産食材の納入推進 ・新たな地産地消システム作りについて(経済部と教育委員会による)協議開始	・里の厨や農協等から光市産食材の納入推進 ・「里の厨」や農協等との連携強化による新たな地産地消システムの 具現化	・里の厨や農協等から光市産食 材の納入推進 ・「里の厨」と農協が連携した新たな 地産地消システムによる事業実施 0 千円	・里の厨や農協等から光市産食材の納入推進 ・「里の厨」と農協が連携した新たな地産地消システムによる事業 実施	・里の厨や農協等から光市産食の納入推進 の納入推進 ・「里の厨」と農協が連携した新たな地産地消システムによる事業 実施
向上かど産業否成を進める		0 千円	\sim \sim \sim \sim	$0 \pm \omega$	0 千円	0 千円
向上など産業育成を進める。	予算		0 千円			
向上など産業育成を進める。 市民との協働の実践状況 担当部局	が進捗・実績・成果等	実施中 実施中 ○地域農産物の利用促進に向けた新たなシステムの構築について協議を実施 ■光市産食材使用率:20%	実施中	実施中 ○「里の厨」や農協等が連携した新たな地産地消システムによる事業開始 ○給食センター、「里の厨」、農協との意見交換を実施し、フォローアップ ■光市産食材使用率19.7%		
市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果	実施中 実施中 ○地域農産物の利用促進に向けた新たなシステムの構築について協議を実施	実施中 〇里の厨と周南農協等の連携による地域農産物の利用促進に向けた新たなシステムを構築	実施中 〇「里の厨」や農協等が連携した 新たな地産地消システムによる 事業開始 〇給食センター、「里の厨」、農協 との意見交換を実施し、フォロ ーアップ	%	

主要施策	の推進 T					27年度末達成状況
土安旭朿	目標	光市産農産物認証制度を検討し、	、農産物のブランド化を目指す			2/平及不连队认沉
農産物のブランド化の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 地元農産物の消費拡大のため農 産物や農産物を活用した加工品 の開発を推進し、ブランド化を図	程計画	・第2次光市地産地消プランの策 定	・光市産農産物の認証制度を検 討するため、他認証制度の調 査・研究	・光市産農産物の認証制度を検 討するため、他認証制度の調 査・研究	・光市産農産物の認証制度を検 討するため、他認証制度の調 査・研究	・光市産農産物の認証制度を検討するため、他認証制度の調査・研究
る。	予算	180 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況		実施中	協議・検討中	協議∙検討中		
	進捗・実績・成果等	〇「第2次地産地消プラン」を策定 (第4章に規定)	〇光市産農産物の認証制度を検 討するため、他認証制度を調 査中	○光市産農産物の認証制度を検 討するため、他認証制度を調 査中		
担当部局						
経済部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 180 千円	計画より遅れている 25 % O 千円	計画より遅れている 25 % O 千円		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
主要施策				「検証し、ブランド化の実施に向けた		27年度末達成状況
水産物のブランド化の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
7(1) E 13 (2) 7 (1 10 (2) EXE	1 1/2					
施策の概要 地元水産物の消費拡大とともに、新たな販売ルートの確保や加工品づくりなど第六次産業化に向けた取組みを推進し、ブランド化を図る。		・第2次光市地産地消プランの策 定	・山口県漁協光支店及び新規漁 業就業者等と協議・検討	・山口県漁協光支店及び新規漁 業就業者と協議・検討	・第六次産業化に向けた協議会の設立並びに協議・検討	・加工・販売施設等について調査・検討(パイロットショップ等)
	予算	180 千円	0 千円	0 千円	73 千円	370 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	協議•検討中	協議・検討中		
担当部局	進捗・実績・成果等	O「第2次地産地消プラン」を策定 (第4章に規定)	〇山口県漁協光支店及び新規 漁業就業者等と協議に向けた 準備	〇山口県漁協光支店及び新規 漁業就業者等と協議に向けた 準備		
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画より遅れている 25 %	計画より遅れている 50 %	%	9
経済部					千円	

5	エコファーマーやニューフィッシ	ノヤー等	等の推進による後継者の育成				
	主要施策	目標	10名の新規就農者を確保する				27年度末達成状況
	新規就農者の育成	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 新規就農者や就農希望者への相 談、支接体制の構築を図り、新規 就農者の受入体制を整備する。	工 程 計 画	・新規就農予定者の研修支援 ・新規就農予定者の研修受入支 援	・新規就農者への営農支援(法 人、経営) ・法人への新規就農予定者の研 修の受け入れ支援	・新規就農者の受入れ、独立支援・新規就農者の定住環境や所得の向上について調査・検討	・新規就農者の受入れ、独立支援 ・新規就農者の定住環境や所得 の向上について調査・検討	・新規就農者の受入れ、独立支援 ・新規就農者の定住環境や所得の向 上について支援 ・移住による人材確保に向けた制度を 実施
	ABJULT SESSION AND CHEMICAL SESSION	予算	3,960 千円	5,670 千円	7,530 千円	8,430 千円	8,991 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	,	,
		表 績 ・ 成	〇新規就農予定者の研修支援: 2人		○青年就農給付金(経営開始型) 3名(2世帯) ○光市就農促進事業(受入れ法 人支援)4名 ■新規就農者(累計):7名		
	担当部局	77					
	∜⊽∴∜r ò n	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	経済部	決算	3,960 千円	5,670 千円	6,110 千円	千円	千円
	主要施策	目標	平成28年度までに10人以上のニ	ューフィッシャーを確保する			27年度末達成状況
	新規漁業就業者の確保	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	ANTINGENIA ANTINGENIA	1 /2					1,55
	施策の概要 県や漁協と連携して、新規漁業就 業者を確保するとともに、就業希 望者の研修等を支援する。	工程計画	・新規漁業就業者の独立支援 ・新規漁業就業研修者の受入れ	・新規漁業就業者の独立支援・新規漁業就業研修者の受入れ	・新規漁業就業者の独立支援・新規漁業就業者の定住環境について調査・検討	新規漁業就業研修者の受入れ新規漁業就業者の独立支援	・新規漁業就業研修者の受入れ・新規漁業就業者の独立支援・移住による人材確保に向けた制度を実施
	11 · //// 4 C/ 12 / G/	予算	900 千円	3,300 千円	6,600 千円	900 千円	1,650 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	1 2	
	担当部局		○研修者の受入れ:2人 ○新規漁業就業者の独立:1人 ■ニューフィッシャーの数:3人	○研修生の受入れ:2人 ○新規漁業就業者の独立:2人 ■ニューフィッシャーの総数:5人	○研修生の受入れ:1人 ○新規漁業就業者の独立:2人 ■ニューフィッシャーの総数:7人 ○H27年度から支援制度の新規 及び拡充制度について検討・ 準備		
	프크마/미	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	0/
	経済部	決算	計画とおり美施 100 % 900 千円	3,300 千円	計画とあり美施 100 % 6,600 千円		
		八 昇	900 TD	ა,ასს ⊤口	0,000 ⊤□	ТП	一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

主要施策	目標	光・熊毛地区栽培漁業センターに	よる中間育成放流事業への支援を	:継続して行い、漁獲物を安定的に	確保する	27年度末達成状況
資源管理型漁業による漁獲物の	年度	H24	H25	H26	H27	H28
安定的な確保	1/2	1121	1120	1120	1127	1120
施策の概要	ー エ ー 程 ー 計	・光分場におけるアワビの中間育	・光分場におけるアワビの中間育成	・光分場における中間育成魚種 の検討	・光分場における中間育成魚種 の検討	・光分場における中間育成魚種 の検討
光・熊毛地区栽培漁業センターに よる水産種苗の中間育成事業へ の支援を行う。		成	・光分場の水槽跡地の活用について調査・検討	・光分場の水槽跡地の活用について調査・検討	・光分場の水槽跡地の活用について六次産業化と併せて検討	・光分場の水槽跡地の活用について六次産業化と併せて検討
	予算	3,785 千円	3,843 千円	3,616 千円	3,793 千円	3,862 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	協議・検討中		
	步 · 実 績	〇アワビの放流実績:36千個	○アワビの放流実績:46千個 ○ニューフィッシャーを交え第六 次産業化を視野に入れた意見 交換会を実施	〇光分場における中間育成魚種について検討 〇アワビの放流実績:46千個 〇ニューフィッシャーを交え第六次産業化を視野に入れた意見 交換会を実施		
担当部局						
経済部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 3,785 千円	計画どおり実施 100 % 3,843 千円	計画より遅れている 50 % 3,616 千円		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
全国のモデルとなる次世代型	10 10 1		3,043 [1]	3,010 []]	111	111
主要施策	目標	大型農業施設を整備し、光市の新	たな特産品を開発するなど、農業	の新たな価値を創造する		27年度末達成状況
光市特産品開発促進大型農業施 設の整備	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイ	程計画		・光市特産品開発促進大型農業 施設の整備を図るとともに、新 規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越	・農業法人による就業者の雇用及 びイチゴの生産、出荷、第六次産 業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円)	・イチゴの生産、出荷、第六次産 業(加工、カフェ)体制の確立	・イチゴの生産、出荷、第六次産 業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産 業化を推進し光市の新たな特産	程 計	千円	施設の整備を図るとともに、新 規就農者を確保	びイチゴの生産、出荷、第六次産 業(加工、カフェ)体制の確立		
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイ	程計画	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円)	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。	程計画予算	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円)	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。	程計画予算進捗・	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円 実施中	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円) 175 千円 実施中	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。	程計画 等 進捗・実	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円)	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。	程計画・発・実績・	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、大型果 実、高糖度を目指すイチゴの 生産基盤となる大型ビニール	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円) 175 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、イチゴの生産、出荷、第六次産業化(加工、カフェ)体制の整備を支援	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。	程計画 第 進捗・実績・成	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、大型果 実、高糖度を目指すイチゴの	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円) 175 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、イチゴの 生産、出荷、第六次産業化(加	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。 市民との協働の実践状況	程計画・発・実績・	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、大型果 実、高糖度を目指すイチゴの 生産基盤となる大型ビニール	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円) 175 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、イチゴの 生産、出荷、第六次産業化(加工、カフェ)体制の整備を支援 〇第六次産業に係る新規就業者	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立
地域の資源を活用した第六次産業化を推進し光市の新たな特産品づくり(大型果実、高糖度のイチゴ)を支援する。	程計画 第 進捗・実績・成果	千円	施設の整備を図るとともに、新規就農者を確保 ※施設整備の一部を翌年度に繰越 77,750 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、大型果 実、高糖度を目指すイチゴの 生産基盤となる大型ビニール	びイチゴの生産、出荷、第六次産業(加工、カフェ)体制の確立 (※繰越額:31,480千円) 175 千円 実施中 〇農事組合法人に対し、イチゴの 生産、出荷、第六次産業化(加工、カフェ)体制の整備を支援 〇第六次産業に係る新規就業者	業(加工、カフェ)体制の確立	業(加工、カフェ)体制の確立

8	漁港施設の機能強化						
	主要施策	目標	生産拠点である光漁港(八幡地区)の機能強化を図る			27年度末達成状況
	漁港施設の整備充実及び強化	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 漁港の安全対策と漁業活動への 災害影響の軽減対策も含めた漁 港施設の機能強化を効果的に実	工 程 計 画	・光漁港広域漁港整備事業として 漁港施設の整備に伴う用地購 入及び家屋補償を実施	・光漁港広域漁港整備事業として漁港内道路の整備実施・光漁港(八幡地区)の耐震・耐津波対策について測量調査を実施	・測量調査結果を基に整備の方向性を検討	・水産物供給基盤機能保全事業 の実施設計を実施し、計画的な 補修や改修を目指す。	・計画的な補修や改修を検討
	施する。	予算	224,955 千円	132,784 千円	0 千円	20,000 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	協議•検討中		
		進捗・実績・成果等	〇用地購入及び家屋補償につい て契約(平成23年度からの継続 事業)	○漁港道路の整備完了○光漁港(八幡地区)の耐震・耐 津波対策について測量調査完 了			
	担当部局	च					
	経済部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 142,171 千円	計画どおり実施 100 % 132,784 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円	% 千円	% 千円
9	付加価値の高い商品開発や新	折たなえ	流通チャンネルの確立など、「里	『の厨』を中心とした新たな地域	活力の創出		
	主要施策		大型農業施設で生産されるイチゴ	等に付加価値を付けた商品を開発	きすると共に新たな流通販路を開拓	する。	27年度末達成状況
	新たな特産品づくりの支援及び流	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	通チャンネルの確立						
	施策の概要 光市特産品開発促進大型農業施設(六次化)の整備を図るととも に、新たな流通販路を確立する。	程計画		・光市特産品開発促進大型農業 施設の整備	・農業法人によるイチゴに付加価 値を付けた商品開発(カフェ、加工)、販路開拓	・農業法人によるイチゴに付加価値を付けた商品開発(カフェ、加エ) ・新たな流通チャンネルの確立	・農業法人によるイチゴに付加価値を付けた商品開発(カフェ、加工)・新たな流通チャンネルの確立
	(-(A)))C. S VIIIAEMAN PIL C PE - 1 00	予算	千円	77,750 千円(再掲)	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況			実施中	実施中		
		進 捗					
		実績・成果等		〇農事組合法人に対し、6次産業 の1次(生産)にあたる大型ビニ ールハウスの整備を支援	〇農事組合法人によるカフェの整 備や商品開発、販路拡大を支 援		
	担当部局	VK Lik		51.77.18481175445			
	経済部	進捗 決算	—————————————————————————————————————	計画どおり実施 100 % 49,125 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円		

□ □ □ 里の厨」を沽用した障害者	の豊か	、な体験場づくりや、キャリア形成	成の支援			
主要施策福祉施設で生産した商品の「里の		農福連携による障害者の豊かな体	、験場づくりや、キャリア形成を促進	する		27年度末達成状況
厨」での販売、農業体験教室の実施等		H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 福祉施設(2団体)による「里の厨」 での商品販売の促進、また農業 体験と通じて農業への参入を促	工 程 計 画	・福祉施設(2団体)による「里の 厨」での商品販売の促進・農業体験を通じて農業への参入 を促進	・福祉施設(2団体)による「里の 厨」での商品販売の促進 ・農業体験を通じて農業への参入 を促進	・福祉施設(2団体)による「里の 厨」での商品販売の促進 ・農業体験を通じて農業への参入 を促進	・福祉施設(2団体)による「里の 厨」での商品販売の促進 ・農業体験を通じて農業への参入 を促進	・福祉施設(2団体)による「里の 厨」での商品販売の促進 ・農業体験を通じて農業への参入 を促進
進する。	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	,,,,	実施中	実施中	実施中		
	進捗・実績・成果	〇里の厨における福祉施設の商 品販売実績:2団体	○里の厨における福祉施設の商 品販売実績:2団体 ○農業体験用農地の管理の一 部を福祉団体に委託し、障害 者の農業参入を進めている。	○里の厨における福祉施設の商品販売実績:3団体○農業体験用農地の管理の一部を福祉団体に委託し、障害者の農業参入を進めている。		
担当部局	果等					
経済部•福祉保健部	進捗 決算	計画より遅れている 50 % O 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円	% 千円	% 千円
11 子どもたちが地域の食文化	や農業	の役割を学ぶ食農教育の推進				
主要施策	目標	子どもたちが農業や食材に関心を	·持ち、食に関する学びを深める			27年度末達成状況
地産地消の推進、農業振興を通 じた食農教育の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 体験研修事業(農業体験教室、加工体験教室、調理体験教室)を通じて食農教育を推進する。	工程計画	・体験研修事業(農業体験教室、加工体験教室、調理体験教室)の充実	・体験研修事業(農業体験教室、 加工体験教室、調理体験教室) の充実	・体験研修事業(農業体験教室、 加工体験教室、調理体験教室) の充実	・体験研修事業(農業体験教室、 加工体験教室、調理体験教室) の充実	・体験研修事業(農業体験教室、加工体験教室、調理体験教室) の充実
201723427	予算	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円	2,000 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
担当部局	進捗・実績・成果等	○農業体験(4コース) ・参加者数:99人(内子ども 21人) ○加工品づくり(4コース) ・参加者数:451人(内子ども 47人) 計550人(内子ども68人)	〇農業体験(4コース) ・参加者数:84人 (内子ども21人) 〇加工品づくり(5コース) ・参加者数:241人 (内子ども35人) 計325人(内子ども56人)	○農業体験(6コース) ・参加者数:99人 (内子ども27人) ○加工品づくり(3コース) ・参加者数:337人 (内子ども11人) 計436人(内子供38人)		
		=1-1:6:11-4-	=1-181-11-14-100	=1 = 18 1: 11 = 14		
経済部•教育委員会	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%

	12 無(減)農薬栽培や堆肥の流	古用なる	1、環境保工型展果の推進				
	主要施策	目標	化学肥料・化学農薬の使用低減を	を図り、安全で安心な農産物を生産	重する		27年度末達成状況
	安全・安心な農産物の生産促進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 生産履歴の提出義務化や有機肥料を使用した栽培、無(減)農薬 生産を促進する。	工程計画	・指導員による農薬の適正使用 の指導	・指導員による農薬の適正使用 の指導	・指導員による農薬の適正使用の指導	・指導員による農薬の適正使用 の指導	・指導員による農薬の適正使用 の指導
		予算	3,993 千円	1,969 千円	1,970 千円	1,939 千円	1,939 千円
	市民との協働の実践状況	\ <u>,</u>	実施中	実施中	実施中		
		進捗・実績・成果等	○楽農塾の開催 ・開催回数:11回 ・参加者数:391人	○楽農塾の開催 ・開催回数:11回 ・参加者数:211人	○楽農塾の開催 ・開催回数:11回 ・参加者数:135人		
	担当部局] "					
	経済部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 3,993 千円	計画どおり実施 100 % 1,886 千円	計画どおり実施 100 % 1,970 千円	% 千円	% 千円
VI	輝くまちと元気な産業の創造	<u>+ </u>	,	,	,		
1	瀬戸風線など幹線道路の整備						
	主要施策	目標	瀬戸風線・虹ケ丘森ケ峠線の早期	明完成に向けた整備工事を進める			27年度末達成状況
	都市計画街路瀬戸風線・虹ケ丘森ケ峠線整備事業(県道光柳井	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	線道路改良事業)の推進						
	施策の概要 国道188号と主要県道を結び、交 通網の整備と利便性の向上を図 る。	程計画	・道路整備工事(虹ケ丘森ケ峠 線)	・道路整備工事(虹ケ丘森ケ峠線)・橋梁予備設計(瀬戸風線)※事業の一部を翌年度に繰越	・道路整備工事(虹ケ丘森ケ峠 線) 1期区間完了 (※繰越額:101,192千円)	・道路整備工事(瀬戸風線)	·用地取得 ·建物等補償 ·道路整備工事(瀬戸風線)
		予算	県予算 150,000 千円	県予算 121,000 千円	県予算 80,000 千円	県予算 160,000 千円	県予算 160,000 千円
	市民との協働の実践状況		県予算 150,000 千円 実施中	県予算 121,000 千円 実施中	県予算 80,000 千円 実施中	県予算 160,000 千円	県予算 160,000 千円
	市民との協働の実践状況	予進捗・実績・成果等			実施中 ○ I 期区間完了 ○ II 期施工区間の測量、護岸詳細設計及び道路詳細設計を	県予算 160,000 千円	県予算 160,000 千円
		進捗・実績・成果	実施中 ○虹ケ丘森ケ峠線約200mの道路整備を実施 ■幹線道路の整備に関する満足	実施中 ○ I 期区間の擁壁工、路床盛土 工を実施 ○ I 期施工区間の測量、橋梁予 備設計及び護岸予備設計を実 施 ■幹線道路の整備に関する満足	実施中 ○ I 期区間完了 ○ I 期区間完了 ○ II 期施工区間の測量、護岸詳 細設計及び道路詳細設計を 実施 ■幹線道路の整備に関する満足	県予算 160,000 千円	県予算 160,000 千円

主要施策	目標	ー 島田地区の交通安全整備事業の)早期完成に向けた 整備工事 を進ぬ	ეგ ეგ		27年度末達成状況
一般県道光玖珂線交通安全整備 事業の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
争耒の推進						
施策の概要 交通安全の促進を図るため、道 路拡幅と歩道の設置を行う。	程計画	·用地取得 ·建物等補償	・用地取得 ・建物等補償 ・道路整備工事の実施 ※事業の一部を翌年度に繰越	・用地取得・建物等補償・道路整備工事の実施 (※繰越額:67,890千円)	・用地取得 ・建物等補償 ・道路整備工事の実施	・用地取得 ・建物等補償 ・道路整備工事の実施
	予算	県予算 80,000 千円	県予算 152,000 千円	県予算 30,000 千円	県予算 176,000 千円	県予算 176,000 千円
市民との協働の実践状況			実施中	実施中	, , , , ,	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	進捗・実績・成果等	○1戸について、用地取得並びに 建物補償を実施	○用地取得及び建物・構造物補 償を実施○歩道舗装及び排水工の一部 着手○建物調査、地質調査を実施	○用地取得及び建物・立木補償を実施○ブロック積工及び法面工の一部実施○市道改良を実施		
担当部局	>44 Jul	=1 = 18 10 11 = 100 = 1	=1 = 18 10 11 = 100 -	=1 = 18 10 11 = 100 - 1		
建設部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 80,000 千円	計画どおり実施 100 % 164,067 千円	計画どおり実施 100 % 109,000 千円	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
生活道路の整備と下水道整備			104,007 [1]	103,000 1	117	111
主要施策		· ·	え道路拡幅整備等の早期完成を目	指す		27年度末達成状況
生活道路の整備	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 狭隘な道路について、拡幅整備 等を図り、市民生活の安心・安全 の確保と交通の利便性を図る。	工程計画	・道路整備工事の実施	・道路整備工事の実施 ※事業の一部を翌年度に繰越	・道路整備工事の実施 (※繰越額:53,800千円) ※事業の一部を翌年度に繰越	・道路整備工事の実施 (※繰越額:4,600千円)	・道路整備工事の実施
·	予算	67,810 千円	89,000 千円	82,700 千円	110,000 千円	51,150 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	捗	○7路線において427mの道路整備 等を実施 ・栄下地区道路、新市稲葉線、 勝間線、山田畑線、山田西庄	○8路線において486mの道路整備 等を実施 ・金山3号線 ・山田中岩田線、新市稲葉線、 勝間線、山田畑線、雨桑稲葉線、	○5路線において112mの道路整備 等を実施 ・石田地区道路、新市稲葉線、 山田西庄線、脇田枝線、虹ケ丘		
担当部局	成果等	線、戎町3号線、雨桑稲葉線 ■地域の生活道路の維持・補修に 関する満足度:48.3%	断旧線、山田加線、内梁相美線、山田西庄線、戎町3号線 ■地域の生活道路の維持・補修に 関する満足度:46.0%	7丁目通路 ■地域の生活道路の維持・補修に 関する満足度:50.3%		
担当部局 建設部	果	線、戎町3号線、雨桑稲葉線 ■地域の生活道路の維持・補修に	山田西庄線、戎町3号線 ■地域の生活道路の維持・補修に	■地域の生活道路の維持・補修に 関する満足度:50.3%	% 千円	% 千円

主要施策	目標	計画区域内において、下水道経営 め、平成28年度末の下水道の処理	な は健全化計画等との整合性を図りた 理区域面積に基づく整備率を72.09	よがら計画的かつ効率的な整備促え %とする	進を図りつつ整備率の確保に努	27年度末達成状況
公共下水道の整備	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	工品	・下水道の計画的かつ効率的な整	・下水道の計画的かつ効率的な	・下水道の計画的かつ効率的な	・下水道の計画的かつ効率的な	・下水道の計画的かつ効率的な
市内の下水道認可区域における	程計	備促進に努め、処理区域面積に	整備促進に努め、処理区域面 積に基づく整備率を70.9%とす	整備促進に努め、処理区域面 積に基づく整備率を71.3%とす	整備促進に努め、処理区域面	整備促進に努め、処理区域面
室積地区などの下水道未整備地	画	基づく整備率を70.3%とする	情に参うくを開手を70.9%とする。 る	情に奉う、金曜平を71.3%と9 る	積に基づく整備率を71.8%とす	積に基づく整備率を72.0%とす
区について、効率的かつ効果的		(平成23年度末=69.3%)	※事業の一部を翌年度に繰越	(※繰越額:70,074千円)	る	る
に下水道整備を推進する。	予算	270,000 千円	268,000 千円	276,500 千円	213,000 千円	216,000 千円
市民との協働の実践状況	'#	実施中	実施中	実施中		
	進 捗					
	•					
	実					
	績	〇処理区域面積に基づく整備率:	○処理区域面積に基づく整備率: 70.9%	O処理区域面積に基づく整備率: 71.8%		
	成	70.5%	70.9%	71.8%		
	果					
担当部局	等					
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
環境部	決算	251,941 千円	201,033 千円	301,340 千円	千円	千円
3 大和支所などの公共施設の割	を備や	再配置のあり方等の検討				
主要施策	目標	公共施設の整備に着手する				27年度末達成状況
公共施設の再編・再配置	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	エ					
	程 計	•「岩田駅周辺都市施設整備基本	·「岩田駅周辺都市施設整備基本	複合型施設の基本計画・基本設	· 複合型施設の基本計画・基本設	複合型施設の実施設計、地質
市役所大和支所や大和公民館な	画	計画」の策定に着手	計画」を策定	計	計	調査、造成設計
ど老朽化した公共施設のあり方について検討する。						
10000	予算	3,000 千円	5,010 千円	6,500 千円	27,600 千円	48,500 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	進 捗					
	•					
	実	〇計画策定に着手し、市民懇話	○計画策定にあたり、市民懇話 会を開催	〇基本計画・基本設計に着手し、		
	績	会を設置	・懇話会開催数:3回	検討市民会議を設置		
	成	・懇話会開催数∶3回	〇「岩田駅周辺都市施設整備	•市民会議開催数∶2回		
	果		基本計画」を策定			
担当部局	等					
	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
建設部	決算	2,783 千円	4,673 千円	2.000 千円	千円	千円

4	市営溝呂井住宅の非現地建	替え					
	主要施策	目標	公営住宅の建替えに着手する				27年度末達成状況
	市営溝呂井住宅の非現地建替え	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 良質な公営住宅のストック水準の 適正化を図るため、市営溝呂井 住宅を非現地にて建替え。	工程計画	計画」の策定に着手	・「岩田駅周辺都市施設整備基本 計画」を策定	- 公呂は七い墨本計画・墨本設計	・公営住宅の基本計画・基本設計	
		予算	0 千円	0 千円	6,500 千円(再掲)	27,600 千円(再掲)	0 千円
	市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果	実施中 ○計画策定に着手し、市民懇話会を設置・懇話会開催数:3回	実施中 ○計画策定にあたり、市民懇話会を開催・懇話会開催数:3回 ○「岩田駅周辺都市施設整備基本計画」を策定	実施中 ○基本計画・基本設計に着手し、 検討市民会議を設置 ・市民会議開催数:2回		
	担当部局 建設部	等 進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	建設部	決算	0 千円	0 千円	2,000 千円(再掲)	千円	千円
5	道路整備の段差や暗がりの解	解消なと	ど、安心できる居住環境の整備				
	主要施策	目標	公共施設の整備に併せ、歩車道分	分離や照明施設など道路の安全確	保について検討する		27年度末達成状況
	安心できる居住環境の整備	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 段差や暗がりの解消につながる 道路整備の検討を進める。	工程計画	・「岩田駅周辺都市施設整備基本 計画」の策定に着手	- 「岩田駅周辺都市施設整備基本 計画」を策定	・アクセス道路の調査設計 ※事業の一部を翌年度に繰越	・アクセス道路の調査設計、建物 等調査 (※繰越額:3,003千円)	・アクセス道路の調査設計、建物 等調査 ・用地取得・建物等補償 (※繰越額:18,100千円)
		予算	0 千円	1,500 千円	3,000 千円	15,000 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況	~ #-	実施中	実施中	実施中		
	担当部局	進捗・実績・成果等	〇計画策定に着手し、市民懇話 会を設置 ・懇話会開催数:3回	○計画策定にあたり、市民懇話 会を開催 ・懇話会開催数:3回 ○岩田駅周辺地区の交通実態を 把握するため、4箇所で交通量 観測調査を実施 ○「岩田駅周辺都市施設整備基 本計画」を策定			
	建設部	進捗	計画どおり実施 100 %		計画より遅れている 25 %	%	%
	本がも	決算	0 千円	1,313 千円	0 千円	千円	千円

6 空き店舗等を活用した、地域	コミュニ	-ティ活動の場の創出				
主要施策	目標	岩田駅周辺の空き店舗等を活用し	た地域コミュニティ活動の場づくり	の可能性について検討する		27年度末達成状況
地域コミュニティ活動の場づくり	年度	H24	H25	H26	H27	H28
11 th 1 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 17 1	┨					•••••••
施策の概要	工程			 ・「コミュニティ推進基本方針」及	・「コミュニティ推進基本方針」及	・「コミュニティ推進基本方針」及
岩田駅周辺における地域コミュニ	=1			び「岩田駅周辺都市施設整備基	び「岩田駅周辺都市施設整備基	び「岩田駅周辺都市施設整備基
ティ活動の場づくりを促進するための施策について研究する。				本計画」に基づき検討	本計画」に基づき検討	本計画」に基づき検討
OD OD NEW (C DV CHI) DE) SO	予算	千円	千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進			未実施		
	捗			ĺ		
	実					
	績					
	成					
	果等					
担当部局				147		
市民部・経済部	進捗 決算			未着手 0 % 0 千円		
7 大和総合病院の一次医療の	確保と	、慢性期医療やリハビリを主体の				
主要施策		大和総合病院の一次医療の確保	とリハビリを主体とした病院への整(備を図る		27年度末達成状況
大和総合病院の一次医療の確保と回復期リハ病棟開設	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	工 程					,
大和総合病院の一次医療確保及び回復期リハビリ病棟の開設(慢		・大和総合病院の一次医療確保 ・回復期リハビリ病棟開設	大和総合病院の一次医療確保			
性期医療の中心となる療養病床						
は整備済み)	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	捗	·	·			
	実	○大和総合病院の一次医療確保				
	績	•外来患者数:40,718人	○大和総合病院の一次医療確保 ・外来患者数:38,725人	○大和総合病院の一次医療確保 ・外来患者数:37,076人		
	成	〇回復期リハビリ病棟開設 (平成24年4月1日)				
	果					
	等					
担当部局	等	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	96	%

8	JR岩田駅周辺の土地区画整	理事業	など、良好な住環境のあり方の	D調査∙研究			
	主要施策	目標	駅周辺地区内における道路整備の	つあり方などを含めた調査・研究を	進める		26年度末達成状況 【実現・達成】
	土地区画整理事業など、良好な住環境のあり方の調査・研究	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 良好な居住環境を創出するため、 道路などの都市基盤の整備の方 向性について調査研究を進める。	工程計画	計画」の策定に着手	・「岩田駅周辺都市施設整備基本 計画」を策定	業によらず、用地取得方式で道路の整備を進める		
		予算	3,000 千円	5,010 千円(再掲)	0 千円	千円	千円
	市民との協働の実践状況	進捗・宇	実施中	実施中 ○計画策定にあたり、市民懇話	実現·達成 〇「岩田駅周辺都市施設整備		
		実績・成果等	○計画策定に着手し、市民懇話 会を設置 ・懇話会開催数:3回	会を開催 ・懇話会開催数:3回 〇「岩田駅周辺都市施設整備基 本計画」を策定	基本計画」に基づき、土地区 画整理事業によらず、用地取 得方式で道路の整備を進める こととした。		
	担当部局						
	建設部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 2,783 千円	計画どおり実施 100 % 4,673 千円 _(再掲)	計画どおり実施 100 % 0 千円	*************************************	% 千円
9	地域経済の活性化と雇用の創	川出					
	主要施策	目標	事業所・企業統計調査による従業	員数を2.2万人とする(H21.7.1基	準日21,271人)		27年度末達成状況
	雇用の創出・確保対策の充実	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 新卒者の就職並びに離職者の再 就職を支援するとともに、働くこ と、雇用に対する啓発、情報発信	工程計画	・山口県緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用した離職者の雇用創出 ・「雇用の日」事業の実施を検討	・継続事業となる緊急雇用創出事業の円滑な進捗管理と新規再就職支援事業により、雇用を創出 ・「雇用の日」事業を実施	・継続事業となる緊急雇用創出事業の 円滑な進捗管理と新規再就職支援 事業により雇用を創出 ・「雇用の日」事業の実施による雇用に 対する意識啓発	・「雇用の日」事業の実施並びに 事業継続について検討	- 「雇用の日」事業の実施
	事業を実施する。	予算	38,523 千円	114,672 千円	35,184 千円	2,000 千円	1,800 千円
	市民との協働の実践状況	進步	実施中	実施中	実施中		
	担当部局	歩・実績・成果等	○離職者再就職支援事業ほか5 事業を実施 ・雇用者数:74人○「雇用の日」事業準備委員会開催	○離職者再就職支援事業ほか3 事業を実施 ・雇用者数:99人○「雇用の日」メッセージフェアを 開催	事業を実施 ・雇用者数∶28人		
	<u></u>	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	経済部	決算	37,156 千円	100,184 千円	33,832 千円	千円	千円

主要施策	目標	まちづくり市民アンケート「企業誘	致・雇用の確保」に関する満足度を	と30.0%とする		27年度末達成状況
ヒカリノミクス3事業の普及促進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 「安心職場『雇用』を守る企業」宣言事業所認定制度、中小企業等雇用奨励金交付制度、新規事業チャレンジ支援制度の普及促進を図る。	工程計画	・雇用拡大につながる新規事業を 検討	・新規3事業の実施要綱の制定 及び周知、募集、積極的なPR	・3事業の実施と事業の継続、周 知、対象事業所のPR	・3事業の検証と事業継続につい て検討	・中小企業等雇用奨励金交付制度の継続に加え、一定の条件により「『雇用』を守り・広げる事業所」として認定
制度の音及促進を図る。	予算	0 千円	1,600 千円	2,200 千円	2,400 千円	1,200 千円
市民との協働の実践状況	. "	協議・検討中	実施中	実施中		
40 W da G	進捗・実績・成果等	〇新規3事業の検討及び制度設 計	〇「安心職場『雇用』を守る企業」宣言 事業所認定制度:4事業所を認定 〇中小企業等雇用奨励金交付制度: 申請受付 〇新規事業チャレンジ支援制度:4事 業に補助決定 〇広報、ホームページ、「雇用の日」メッセージフェア等でPR	〇「安心職場『雇用』を守る企業」宣言 事業所認定制度:4事業所を認定 〇中小企業等雇用奨励金交付制度: 2事業所に補助金交付 〇新規事業チャレンジ支援制度:4事 業に補助金交付 〇広報、ホームページ、「雇用の日」メ ッセージフェア等でPR		
担当部局	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
経済部	決算	100 % 0 千円	1,597 千円	1,568 千円	千円	千円
主要施策	目標	山口県観光客動態調査による観う	光客数を100万人にする(H19:77	76,250人)		27年度末達成状況
観光交流人口の拡大	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 観光案内機能等の充実強化及び 情報発信力の強化への取り組み を行い、観光交流客の増加を図	工 程 計 画	・観光協会の体制及び案内機能 強化・観光イベント等の充実・観光協会事務局移転の検討・情報発信力の強化方法を検討	・観光協会の体制及び案内機能強化 ・観光イベント等の充実 ・観光協会事務局移転を実施 ・観光パンフレットリニューアルを実施 ・観光協会HPのリニューアルに着手	 観光協会の体制及び案内機能強化 観光イベント等の充実 観光パンフレットリニューアルを実施(H25継続事業) 観光協会HPをアップ 	・観光協会の体制及び案内機能強化 ・観光イベント等の充実 ・観光案内所を中心としたネットワーク の整備	・観光協会の体制及び案内機能強化 ・観光イベント等の充実 ・観光案内所を中心としたネットワーク の整備
<u>る。</u>	予算	16,270 千円	19,936 千円	22,711 千円	17,403 千円	16,933 千円
市民との協働の実践状況	* #	実施中	実施中	実施中		
担当部局	進捗・実績・成果等	○観光協会補助金:16,270千円 ○観光客数:920,650人	〇観光協会補助金:17,436千円 〇観光客数:910,140人 〇観光パンフレット作成業務委 託契約締結 作成着手:1,500 千円 〇新たな観光イベントとしてオー ブンガーデンを実施:2軒の個 人宅	○観光協会補助金:19,211千円 HPリニューアル ○観光客数:864,063人 ○観光パンフレット作成業務 :3,469千円		
経済部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	決算	16,270 千円	19,853 千円	22,680 千円	千円	千円

	主要施策	目標	製造品出荷額を4,500億円、商品		27年度末達成状況		
### 2	商工業の育成支援	年度	H24	H25	H26	H27	H28
129,086年円 114,555 千円 203,368 千円 565,025 千円 471,895 千円 471,895 千円 203,368 千円 565,025 千円 471,895 千円 203,368 千円 20	各種融資制度等の利用促進や事 業所設置奨励金の交付による事	程 計	・利子補給や保証料の補給及び	・利子補給や保証料の補給及び	・利子補給や保証料の補給及び	・利子補給や保証料の補給及び	·事業所設置奨励金の交付要件を緩 和
### 1	大員 並が 11日1日と四つ。	予算	129,686 千円	114,555 千円	203,368 千円	565,025 千円	471,895 千円
##	市民との協働の実践状況	淮	実施中	実施中	実施中		
 経済部 進捗 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % 決算 76,506 千円 53,297 千円 187,191 千円 千円 千円 千円 千円 187,191 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 十円 千円 千円 千円 千円 十円 千円 千円 十円 十円 千円 187,191 千円 十円 千円 十円 十円	七七 如巨	捗・実績・成果	策等融資の普及促進 ・保証料補給:43件、5,845千円 ・利子補給:209件、7,980千円 ・事業所設置奨励金:1件、	策等融資の普及促進 ・保証料補給:41件、5,603千円 ・利子補給:175件、5,088千円 ・事業所設置奨励金:1事業所、	策等融資の普及促進 ・保証料補給:43件、5,939千円 ・利子補給:136件、2,625千円 ・事業所設置奨励金:2事業所、		
注要施策 187,191 千円 千円 千円 千円 千円 187,191 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円 千円	3, 5	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	9/
日標 元間上会議所、大和商工会の会員数を維持する	<u> </u>						1
・	主要施策	目標	光商工会議所、大和商工会の会員	員数を維持する			27年度末達成状況
#		年度	H24	H25	H26	H27	H28
15,800 千円 25,800 千円 25	光商工会議所、大和商工会が行う経営 改善普及事業及び経営基盤の強化に 資する事業等への助成、市内商店会	程 計	の補助金や光まつり実行委員 会への交付金の支給を通じた	の補助金や光まつり実行委員 会への交付金の支給を通じた	対する補助 ・光商工会議所、大和商工会への補助 金や光まつり実行委員会への交付 金の支給を通じた商店会の活性化	対する補助 ・光商工会議所、大和商工会への補助 金や光まつり実行委員会への交付金	・光商工会議所、大和商工会への補 金や光まつり実行委員会への交付
進	が行りイベントへの文抜を行り。	予算	16,137 千円	15,800 千円	26,100 千円	86,800 千円	25,800 千円
担当部局 進捗 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 %	市民との恊働の実践状況	步 : 実績 :	〇商工会議所等会員数: 1,091事業所 〇商工団体助成事業:5,000千円 〇商工業振興補助金:700千円	○商工会議所等会員数: 1,060(光:941、大和119) ○にぎわい創出事業:8,400千円	○商工会議所等会員数: 1,062(光:950、大和112) ○プレミアム付市内共通商品券 事業:9,970千円		
¥X √x □l/ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	担当部局	果 - 等	〇中小企業支援対策事業: 5,137千円	7,400千円	〇中小企業支援対策事業: 7,400千円		
	经济部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 16.137 千円	計画どおり実施 100 % 15,800 千円	計画どおり実施 100 % 26,070 千円		

★「改革」と「開示」 ~改革と開示で創ります 「開かれた市民主体の行政」~ 将来への礎の創造 くち利き防止の制度化 主要施策 27年度末達成状況 日標 くち利き防止制度を推進する 年度 H24 H25 H26 H27 H28 くち利き防止の制度化 エ 施策の概要 ・くち利き防止制度の運用開始 (要望・要求内容と市の対応 制度の継続実施 制度の継続実施 制度の継続実施 制度の継続実施 公務に対する市民の信頼を確保 を記録・公開) するため、市民の疑惑や不信を 招く職務執行行為の防止を図る。 予算 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 市民との協働の実践状況 実現•達成 実施中 実施中 淮 Oくち利き防止制度の運用開始 Oくち利き防止制度の運用開始 ○くち利き防止制度の運用開始 (要望・要求内容と市の対応 (要望・要求内容と市の対応 (要望・要求内容と市の対応 を記録・公開) を記録・公開) を記録・公開) 成 果 担当部局 進捗 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % % 総務部 決算 0 千円 0 千円 0 千円 千円 千円 2 市長給与・退職金の削減 27年度末達成状況 主要施策 目標 市長給与の削減を行う 年度 H24 H25 H26 H27 H28 市長給与の削減 I 施策の概要 ・市長給与を10%削減(4~6月) ・市長給与を10%削減 市長給料30%削減、期末手当 ・市長給与を10%削減 10%削減(7月~3月) ・市長給与を10%削減 ・特別職報酬等審議会の開催 ・市長給与を10%削減 徹底した行政改革に取り組む姿 特別職報酬等審議会の開催(開催 (開催の定期化を検討) 勢を示すため、退職時まで市長 の定期化を検討) 給与の10%を削減する。 予算 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 0 千円 市民との協働の実践状況 実施中 実施中 実施中 •市長給料を10%削減(4~6月) ・市長給料を10%削減(4~3月) 〇市長給与を10%削減 ·市長給料30%削減(7月~3月) •期末手当10%削減(4~3月) •削減額:1,441千円 •期末手当10%削減(4~3月) 削減合計:1.457千円 成 削減額合計:2.996千円 果 等 担当部局 進捗 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % 計画どおり実施 100 % % % 総務部 決算 0 千円 0 千円 0 千円 千円 千円

	主要施策	目標	市長退職金の削減を行う				27年度末達成状況
	市長退職金の削減	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 市長給与の削減により、退職手当 も同時に削減する。	工程計画	・退職金を10%削減				・退職金を10%削減
		予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況		実施中	実施中	実施中	5 11.7	
	担当部局	進捗・実績・成果等	○退職金を10%削減 ・削減額:2,343千円				
		進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	総務部	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	
3	行財政改革の推進						
	主要施策	目標	財政健全化計画に掲げる各種取締	組みを推進し、持続可能な財政基準	盤を確立する。		27年度末達成状況
	健全な財政運営の維持	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 財政健全化計画に基づき、歳入 の確保と歳出の削減を徹底して 行う。	工程計画	・起債対象事業の厳選、有利な起 債の選択、入札等による公債費の 縮減、基準外繰出金の抑制、繰上 償還の実施、遊休公有財産の処 分など			・起債対象事業の厳選、有利な起 債の選択、据置期間の見直し・入 札等による公債費の縮減、基準 外繰出金の抑制、繰上償還の実 施、遊休公有財産の処分など	・起債対象事業の厳選、有利な起 債の選択、据置期間の見直し・入 札等による公債費の縮減、基準 外繰出金の抑制、繰上償還の実 施、遊休公有財産の処分など
		予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況	積 · 成	実現・達成 ○経常的経費の1%削減 ○繰出金の抑制 など ○財政健全化効果額: 86,129千円 ○実質公債費比率:11.9%	実現・達成 ○経常的経費の1%削減 ○繰出金の抑制 など ○財政健全化効果額: 141,307千円 ○実質公債費比率:10.7%	実現・達成 ○経常的経費の1%削減 ○繰出金の抑制 など ○財政健全化効果額: 96,890千円 ○実質公債費比率:10.1%		
	政策企画部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%

主要施策	目標	行政改革大綱に基づいて行政改	革を推進するとともに、次期行政改	革大綱及び実施計画を策定する		27年度末達成状況
行政改革大綱の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要	工程			DEST OF WHATE		*** *********************************
行政改革大綱及び実施計画に 沿って、行政改革の着実な推進 に取り組む。	計画	・実施計画の進捗管理	・実施計画の進捗管理	・実施計画の進捗管理 ・新たな実施計画(平成27~28年度)の策定	・実施計画の進捗管理	・実施計画の進捗管理・次期行政改革大綱及び実施計画の策定
	予算	8 千円	8 千円	17 千円	8 千円	8 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	一 実績・成果等	○進捗状況等について調査を実施(4月・11月)○行政改革市民会議を開催○第二次光市行政改革大綱実施計画を改訂	○進捗状況等について調査を実施(5月・11月)○行政改革市民会議を開催(2回)	○進捗状況等について調査を実施(6月)○行政改革市民会議を開催(2回)○平成27~28年度の年次計画の追加など、実施計画を改定		
担当部局	₩ 11F		51.75.15.11.15.15.1 100 s.	-1		
政策企画部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 1 千円	計画どおり実施 100 % 3 千円	計画どおり実施 100 % 3 千円		光
主要施策				たすとともに、施策評価結果を次年		27年度末達成状況
行政評価制度の構築	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 事務事業評価及び施策評価を導入することにより、行政活動の目的・達成目標の明確化や客観的な検証に基づく 行政経営等を実現する。	程計画	・事務事業評価の実施(試行)	・事務事業評価の実施(事務事業の整理・体系化)・施策評価の制度設計	・事務事業評価の実施 (評価結果の公表を開始)	・事務事業評価を実施し、評価結 果を公表	・事務事業評価を実施し、評価結果を公表
行政性音等を大先する。	予算	75 千円	331 千円	2,507 千円	55 千円	10 千円
市民との協働の実践状況	進	実施中	実施中	実施中		
	進捗・実績・成果等	○全事務事業540事業のうち、455事業について事務事業評価シートを作成し、297事業について1次評価を実施○51事業について、2次評価を実施	○381事業について事務事業評価を試行実施 ○事務事業の整理体系化のために業務の棚卸しを実施 (1,525業務) ○事務事業評価制度の状況を踏まえた施策評価制度の検討	○375事業(1,528業務)について 事務事業評価を実施し、評価結 果を公表 ○公表にあたり、記載内容の平 準化や精度向上を図るため、専 門家による評価シートの添削や 研修等を実施		
担当部局						
担当部局 政策企画部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画より遅れている 75 %	計画どおり実施 100 %	%	%

主要施策	目標	公共施設マネジメントの方向性を	定め、施設の再編等に着手する			27年度末達成状況
公共施設マネジメントの推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 市の保有する公共施設を総合的 に把握し評価を進め、施設の再 編等を効果的に推進する。	工程計画	・先進地視察及び庁内研修会の 実施	・公共施設白書の作成	・公共施設白書の公表・周知・公共施設の適正配置等に関する方針(仮称)の策定	・公共施設白書の周知・公共施設の適正配置等に関する方針(仮称)の策定	·光市公共施設等総合管理計画 の策定
	予算	280 千円	0 千円	225 千円	1,113 千円	3,205 千円
市民との協働の実践状況	٠,μ	実施中	実施中	実施中		
	進捗・実績・成果等	○先進地2市を視察 ○庁内研修会を開催 ・受講者数:41人	○年度内の完成を計画していた が、国が地方公共団体に策定 を求める「公共施設等総合管 理計画」の内容を見定める必 要が生じたため、中間案までを 策定	〇公共施設白書を策定(7月)し、 HP等への掲載などにより公表 〇現状や公共施設マネジメントの 必要性の周知のため、白書を基 に広報紙への掲載や出前講座 を実施 〇方針策定に向け、総合管理計 画との関係など、内容を検討		
担当部局						
政策企画部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 197 千円	計画より遅れている 75 % 15 千円	計画どおり実施 100 % 377 千円		
	/\ J F	137 111	10 111	377 113	117	111
主要施策	目標	「市民サービスの充実に対する満	足度」を40%以上とする			27年度末達成状況
手間がかからない行政サービスの 提供方法等の検討	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 「アンストップサービスの課題等を整理しながら、総合窓口の設置や窓口業務の集約化など、より利便性の高いサービス提供体制の構築や提供方法について検討を進める。	工程計画	・市民サービス向上推進チームからの提言を具現化	סלס	・ワンストップサービスに向けた調査研究 ・市民が手間をかけずに申請や手続きを行うことができる方法を検討・実施・窓口業務の集約化の検討	・ワンストップサービスに向けた調査研究 ・市民が手間をかけずに申請や手続きを行うことができる方法を検討・実施・窓口業務の集約化の検討	・ワンストップサービスに向けた調査で究 ・市民が手間をかけずに申請や手続を行うことができる方法を検討・実施・窓口業務の集約化の検討
市民との協働の実践状況	ı, 11	実施中	協議・検討中	協議・検討中	0 111	0 111
	進捗・実績・成果等	○市役所の業務一覧表の作成 ○市民課戸籍住民係において、5種類の申請書を2種類に統合するととも に、高齢者等に配慮した申請書記載 台を設置 ○来庁者が見やすい位置に総合受付 を移設 ○市役所ロビーの庁舎案内板の変更 ■市民サービスの充実に対する満足 度:21.7%	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	ワンストップサービスに向けた調査研究市民が手間をかけずに申請や		
担当部局		~:-::				
担当部局 総務部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	Ç

また来たくなる窓口サービスの						26年度末達成状況
工文心术	目標	平成26年度末(平成27年3月)ま	でに、平成18年3月に策定した「扌	妾遇マニュアル」を改訂する		【実現・達成】
接遇マニュアルの改訂	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 市民の目線に立った満足度の高い市民サービスを提供するため、プロジェクトチームを設置し、接遇マニュアルの改訂に取り組む。	工程計画	・市民サービス向上推進チームか らの提言を具現化	 第2期市民サービス向上推進チームを設置し、接遇における課題や問題点の把握(窓口満足度アンケート調査の実施) 平成18年3月に策定した「接遇マニュアル」を改訂 	・光市役所が職員に対して求める 基本的な行動や考え方を示した 「行動指針」の作成 ・平成18年3月に策定した「接遇 マニュアル」を改訂		
マーユノルの改訂に取り組む。	予算	0 千円	336 千円	310 千円	千円	千円
市民との協働の実践状況	\#	実施中	実施中	実現·達成		
	進捗・実績・成果等	○部単位の接遇スローガンの設定、掲示 ○総合受付の移設 ○市民コンシェルジュ事業を実施 ○接遇の市民満足度調査の実施・回答数:441件 ・総合評価:3.81点/4点	・第2期市民サービス向上推進チームを設置し、窓ロサービスにおける課題や問題点の把握(窓口満足度アンケート調査の実施)	・第2期市民サービス向上推進チームが、下記を作成 〇職員に対して求める基本的な行動や考え 方を示した「行動指針」 〇接週キャッチフレーズ「きらりと光おもてな し」 〇接週マニュアルの改訂版である「きらりと光 サービスブック」		
担当部局	\# 11F					
総務部	進捗 決算	計画どおり実施 100 % 0 千円	計画どおり実施 100 % 500 千円	計画どおり実施 100 % 184 千円	<u>%</u> 千円	千円
主要施策	目標	「市民サービスの充実に対する満	 足度」を40%以上とする			27年度末達成状況
定期的な研修の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 職員の接遇能力やコミュニケー ション能力の向上を図るため、ひ とづくり財団主催の研修の受講	工 程 計 画	・接遇能力やコミュニケーション 能力の向上に向けた研修の実 施	・接遇能力やコミュニケーション 能力の向上に向けた研修の実 施	・接遇能力やコミュニケーション 能力の向上に向けた研修の実 施	・接遇能力やコミュニケーション 能力の向上に向けた研修の実施 ・改訂した接遇マニュアルの実践 に向けた研修の実施	・接遇能力やコミュニケーション 能力の向上に向けた研修の実施 ・改訂した接遇マニュアルの実践 に向けた研修の実施
や、効果的な研修を実施する。	予算	124 千円	50 千円	50 千円	51 千円	52 千円
市民との協働の実践状況	.,,	実施中	実施中	実施中		
	進捗・実績・	○市民コンシェルジュ事業の実施 ○接遇研修の実施 ○ひとづくり財団主催の窓口対応、 折衝力向上、クレーム対応研修 を受講	○接遇研修の実施 ○ひとづくり財団主催の窓口対 応、折衝力向上、クレーム対 応研修を受講	○接遇研修の実施 ○ひとづくり財団主催の窓口対 応、折衝力向上、クレーム対 応研修を受講		
	_ 			■市民サービスの充実に対する		
担当部局	成 果 . 等	■市民サービスの充実に対する満 足度:21.7%	■市民サービスの分美に対する 満足度:24.2%	満足度: 22.9%		
担当部局 総務部	果				%	

主要施策	目標	権限移譲対象事務について平成	28年度までに44事務(移譲後に法	ま定移管となったものを含む)を受け	入れる	27年度末達成状況
権限移譲事務受入れの推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 市民ニーズを踏まえた権限移譲 事務を受け入れ、市民サービスの 向上をめざす。		・12事務を受入れ	・2事務を受入れ	・1事務を受入れ予定	・受入れ予定なし	・受入れ予定なし
	予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
市民との協働の実践状況	進捗・実績	実施中 ○12事務を受入れ ・優良宅地の認定に関する事務 (10,000平方メートル未満) 実績:0件 ・都市計画区域内における開発行為 の許可等に関する事務	実施中 O2事務を受入れ ・農事組合法人の指導・監督に関する事務 実績・0件(対象:3法人) ・新たに就農しようとする青年等	実施中 〇1事務を受入れ ・漁港区域内の国有財産の管理に関する事務(市町が管理する 漁港の区域内に所在する農林水		
担当部局	成果等	(10,000平方メートル未満) 実績:10件 ・農用地区域内の開発行為の許可等に関する事務 実績:2件 他9事務受入れ ■移譲済事務数:39事務	の就農計画の認定に関する事務 実績:0件 ■移譲済事務数:41事務	産大臣の所管に属する国有財産 に係るものに限る) 実績:18件 ■移譲済事務数:42事務		
総務部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	9/
松约5月	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円
定期的な市政報告の実施						
主要施策	目標	市政への市民参画機会を確保する	るとともに、市民からの意見・提言を	と市政に反映させ、協働型のまちづ	くりを推進する	27年度末達成状況
市民対話集会の実施	年度	H24	H25	H26	H27	H28
施策の概要 市政の情報発信や政策のPRにより、機 運の醸成と課題等への理解を深めると ともに、市民からの意見や提言を市政 に反映し、協働のまちづくりの一助とす	工程計画	・後期基本計画の説明を中心とした政策をPRするため、市内各 12公民館において市民対話集 会を開催	・市内4会場において、「防災・減災」をテーマに市民対話集会を開催	・「市長と気軽にバスツアー」 を開催	・次期総合計画に市民意見を反映する ため、意見交換等を中心に市民対 話集会を開催 ※予算は、次期総合計画策定事業 の中で計上	反映するため、市内12コミュニティセンターにおいて市民対話集会を開催
వ .	予算	177 千円	36 千円	400 千円	0 千円	232 千円
市民との協働の実践状況	νμ.	実施中	実施中	実施中		
	進捗・実績・	〇市内各12公民館にて、市政の報告、 後期基本計画の説明、地域からの活 動報告等を実施 〇市民参加の状況 ・参加名数:794人 ・発言者数:112人	○市内7公民館にて、防災・減災をメイ ンテーマに、市の事業等の説明や、 地域の取組みの紹介等を実施 ○市民参加の状況 ・参加者数:414人 ・参言者数:67件 ・意見:提言カード提出数:16件	○市長と市民が光市の魅力を感じながら、未来を語る「市長と気軽にバスツアー」を全3回の日程で開催。 ○市民参加の状況 ①18人、②58人、③20人 計96人 ○やさしさあふれる「わ」のまちの実現		
担当部局	成果等	・意見・提言カード提出数:32件 〇市民とともに、過去と未来のまちづく りについて理解と共有を得た。	○防災・減災に対する意識啓発と、市 政の進捗等について市民と共有した。	に向けた市民と市長の有意義な対話となった。		
担当部局 政策企画部	果	・意見・提言カード提出数:32件 〇市民とともに、過去と未来のまちづく	○防災・減災に対する意識啓発と、市 政の進捗等について市民と共有し		%	

	主要施策	目標	定期的な情報発信のあり方を検討	けする			26年度末達成状況 【実現•達成】
	定期的な市政情報の提供の検討	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 新たな情報発信手段として、市長 の定例記者会見等について検討 する。	工程計画		・定例記者会見等、定期的な情報 発信のあり方の検討	・定例記者会見等、定期的な情報 発信のあり方の検討		
) 0	予算	千円	0 千円	0 千円	千円	千円
	市民との協働の実践状況 担当部局	進捗・実績・成果等		協議・検討中 〇他市の状況調査実施 ○更に調査研究を行い、効率的 な情報発信手段を検討	実現・達成 〇新たな情報発信手段として、記者発表資料を市HPへリアルタイムで掲載することにより、発信する情報の鮮度の確保と充実を図ることとし、定例記者会見は、予算発表等の必要に応じて開催する。		
	政策企画部	進捗	%	計画より遅れている 50 %	計画どおり実施 100 %	%	%
L	2 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	決算	千円	0 千円	0 千円	千円	千円
9	113 116 - 1713 -						
	主要施策	目標	市長公約を中心に本市の政策の	進捗状況を毎年度明らかにし、最終	冬的な達成状況を示す		27年度末達成状況
	市長公約の達成率の開示	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 市長公約などについての進捗状況や評価・検証を行い、政策の見える化を図るとともに、最終的な達成率について、広く公表する。	工程計画	・マニフェスト推進計画に基づき、 評価・検証の実施・マニフェスト達成率の公表	・政策工程表の作成及び評価・ 検証の実施(達成状況の開示)	・政策工程表の見直し及び評価・ 検証の実施(達成状況の開示)	・政策工程表の見直し及び評価・ 検証の実施(達成状況の開示)	・政策工程表の見直し及び評価・ 検証の実施(最終的な達成率 の開示)
		予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況 担当部局	・実績・成	実施中 ○平成23年度マニフェスト推進計画の評価・検証を実施。進捗状況を公開 ○市民対話集会等の場において市長マニフェストの最終達成率を公開:達成率88% ○市民と公約達成率を共有、ともに評価・検証を図った。	実施中 ○平成25年10月に、「政策工程表」を作成し、決算参考資料として議会に提出 ○「政策工程表」において、市長公約に関連する施策の平成24年度の評価・検証を柱ごとに開示 ○市民と公約達成率を共有、ともに評価・検証を図った。	実施中 ○平成26年10月に、「政策工程表」を作成し、決算参考資料として議会に提出 ○「政策工程表」において、市長公約に関連する施策の平成25年度の評価・検証を柱ごとに開示 ○市民と公約達成率を共有、ともに評価・検証を図った。		
	政策企画部	進捗	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	計画どおり実施 100 %	%	%
	次/// 上四 IP	決算	0 千円	0 千円	0 千円	千円	千円

	主要施策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・					≥行 う	27年度末達成状況
	情報公開の推進	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 ホームページ、メールマガジンなど複数のメディアによるデジタル広報等の充実を図る。	工程計画	・市政情報などを電子メールにて配信・ふおとdeひかりによる光市の風景やイベントなどの様子を写真により発信	 市の記者発表資料をPDF化し、ホームページに掲載 SNS(FACEBOOKやtwitterなど)の活用について調査・研究 	報発信の検討	・多様な広報媒体による新たな情 報発信の検討	・多様な広報媒体による新たな情 報発信の検討
		予算	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	市民との協働の実践状況	進捗・実績・成果等	実施中 〇ホームページ、メールマガジンの発行など、電子媒体を活用したデジタル広報の充実を図った。	実施中 〇ホームページ上に「光市記者発表」のページを作成。 〇25年度中285件の記者発表資料及び行事予定表を掲載	の運用状況を調査・研究		
	担当部局 政策企画部	進捗決算	計画どおり実施 100 % 0 千円	計画どおり実施 100 % 0 千円	計画より遅れている 75 % O 千円	% 千円	% 千円
10	10 次期総合計画等の策定						
	主要施策	目標	市民との協働により、計画的市政	軍営の柱となる「(仮称)光市総合計	†画」等を策定する		27年度末達成状況
	(仮称)光市総合計画等の策定	年度	H24	H25	H26	H27	H28
	施策の概要 新たな総合計画を策定するととも に、国の「地方創生」に呼応した 人口ビジョンや総合戦略を策定す	工程計画				・新たな「まちづくり市民協議会」を設置 ・(仮称)光市総合計画の策定に着手 ・地方創生に呼応した人口ビジョンと 総合戦略を策定 (※繰越額:8,576千円)	・「光市人口ビジョン」を踏まえた 第2次光市総合計画を策定 ・「光市まち・ひと・しごと創生総合 戦略」の推進
	る。	予算				8,813 千円	5,027 千円
	市民との協働の実践状況 担当部局	進捗・実績・成果等					
	政策企画部	進捗				%	%
	以水上門印	決算				千円	千円

光市政策工程表

(計画編)

平成 24 年度~平成 28 年度 平成 28 年 3 月

政策企画部企画調整課企画係 連絡先:0833-72-1400(内線 232)

担当:加川、光田